

2024年度事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

2024 年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、計画した全ての行事、出張等を実施した結果、全体予算の 100.7%を遂行した。

1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- (1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件 3,000 万円 10 件 計 3 億円を贈呈した。
- (2) ハイリスク新興感染症研究助成は、満 55 歳未満の研究者を対象に公募を行い、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究に対して、1件 1,000 万円 10 件 計 1 億円を贈呈した。
- (3) 生命科学研究助成は、満 55 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件 1,000 万円 30 件 計 3 億円を贈呈した。
- (4) 医学系研究助成は、医学系の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件 200 万円 243 件 計 4 億 8,600 万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）66 件、精神・神経・脳領域 40 件、感染領域 25 件、基礎 72 件、臨床 40 件]
継続助成は、本研究助成の 2021 年度および 2022 年度被助成者を対象に公募を行い、1件 300 万円 32 件 計 9,600 万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）10 件、精神・神経・脳領域 6 件、感染領域 3 件、基礎 9 件、臨床 4 件]
- (5) 薬学系研究助成は、薬学系の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件 200 万円 41 件 計 8,200 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2021 年度および 2022 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 5 件 計 1,500 万円を贈呈した。

- (6) ライフサイエンス研究助成は、医学・歯学・薬学系を除く大学・学部や研究機関、高等専門学校に所属する満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 42 件 計 8,400 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2021 年度および 2022 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 5 件 計 1,500 万円を贈呈した。

- (7) 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む、研究機関内の複数の部署・研究室における共同研究に対して、1 件 4,300 万円～5,000 万円 12 件 計 5 億 5 千万円を贈呈した。

- (8) ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1 件 200 万円 40 件 計 8,000 万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2021 年度および 2022 年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1 件 500 万円 15 件 計 7,500 万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2021 年度および 2022 年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 1,000 万円 5 件 計 5,000 万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2021 年度および 2022 年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 3,000 万円 2 件 計 6,000 万円を贈呈した。

- (9) 中学校・高等学校理科教育振興助成は、中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1 件 30 万円 70 件 計 2,100 万円を贈呈した。（中学校 19 件、高等学校 51 件）

以上、研究助成の贈呈金総額は 23 億 1,400 万円となった。

2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

(1) 外国人留学生に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究、研修する外国人留学生に対する留学助成を行った。

本年度は、7 指定国/地域より 37 名、その他の国/地域より 7 名、計 44 名に留学

助成を行った。2023 年度までに開始済みの外国人留学者の継続分を含めて留学助成金として総額 9,731 万円を支給した。

なお、1964 年に本事業を開始して以来、2025 年 3 月末までに助成した外国人留学者の総数は 49 ヲ国/地域から 1,940 名となった。

本年度に留学助成を行った来日外国人留学者数は、次の通りである。

〈2025年3月31日現在〉

国 別	2024年度 計画 (人数)	2024年度 承認 (人数)	実 績 (人数)				備 考
			本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	3	5	5			5	
タ イ	6	6	6			6	
フィリピン	6	8	8	1		9	
韓 国	3	0	0	1		1	
中 国	6	6	6			6	
インドネシア	6	7	7			7	
ベトナム	3	3	3			3	
7指定国/地域小計	33	35	35	2		37	
上記7指定国/地域以外	7	7	7			7	
総 計	40	42	42	2		44	

助成中の外国人留学者および元外国人留学者が集う第 2 回 Social Gathering を 2024 年 10 月 15 日（火）に開催し、83 名（国内 42 名、海外 41 名）が参加した。

(2) 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で従来の指定大学 7 校（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）に本年度から新たに慶應義塾大学を加えた指定大学 8 校の医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者に対し、奨学助成（年間 360 万円、最大 4 年間）を行った。

従って、本年度は、2021 年度助成者 10 名、2022 年度助成者 12 名、2023 年度助成者 14 名、2024 年度助成者 16 名と合わせて計 52 名に、総額 1 億 8,720 万円を奨学助成した。

なお、2024 年 5 月 30 日（木）に 2024 年度医学部博士課程奨学助成認定式を開催し、その際、2022 年度継続助成者の中から審査の上、優秀者 2 名に、各 50 万円、

計 100 万円を追加で奨学助成した。

医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で 98 名となり、そのうち 72 名が取得後も基礎研究機関に所属した。

(3) 海外研究留学に対する助成（海外研究留学助成）

海外研究留学を希望する若手医師でかつ博士号保持者または博士課程在籍者を対象に、最長 4 年間助成する海外研究留学助成事業を行っている。本年度は、2020 年度留学者で出立が遅れた 1 名、2021 年度留学者 4 名、2022 年度留学者 9 名、2023 年度留学者 10 名と、2024 年度留学生 10 名を合わせると計 34 名となり、内、2022 年度留学者の 1 名は 9 カ月で修了帰国したため、総額 1 億 6,589 万円を渡航費込みで助成した。

また、2025 年度の海外研究留学者について公募を行い、選考の結果、10 名を決定して、2025 年 2 月 21 日（金）に 2025 年度海外研究留学助成認定式を開催した。

海外研究留学助成の累計採択者は 70 名となった。

3. 我が国の医学界における優れた研究者に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された 19 名の候補者について、9 名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、2 名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2024 年 11 月 12 日（火）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および 副賞（1 件 3,000 万円）をそれぞれ贈呈した。引き続き、祝賀式を開催し 56 名が参加した。

服部 信孝 博士

受賞時職名：順天堂大学 主任教授

研究題目：遺伝子解析を基盤としたパーキンソン病の発症機構解明

岩田 想 博士

受賞時職名：京都大学 教授

研究題目：医学・薬学に資する膜蛋白質の三次元構造ならびに時間分解を加えた四次元構造解析の研究

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は下記 第 22 回 武田科学振興財団 生命科学シンポジウムを開催した。

テ ー マ : “Unraveling the Human Immune System: Exploring Norms in Health and Alterations in Diseases”

「ヒト免疫系を解き明かす

— 健康体における“正常”と疾患における“逸脱”の探索 —」

組織委員長： 上野 英樹（京都大学 教授）

組織委員： 西川 博嘉（名古屋大学 教授/ 国立がん研究センター 腫瘍免疫
研究分野 分野長）

山本 一彦（理化学研究所 生命医科学研究センター センター長）

講 演： 21 名（国内 4 名、海外 17 名）

ポスター発表（89 件）

会 期： 2025 年 2 月 7 日（金）～8 日（土）

場 所： 大阪国際会議場（大阪市中之島）

参 加 者： 227 名

ポスター褒賞：シンポジウムに応募したポスター発表者を対象に、選考委員会で決
定し、褒賞金として 1 件 50 万円 6 件 計 300 万円を贈呈した。

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書発刊）

杏雨書屋機関誌『杏雨』27 号を 2024 年 7 月に発刊した。

6. 本草医書、東洋学を中心とした図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書公開）

(1) 保管・管理

写真撮影 139, 288 枚、複写製本 698 冊、補修 22 点を行った。

(2) 公開

閲覧者は 298 名（閲覧図書 2, 358 部、11, 985 冊）、複写依頼は 54 名（複写部数 167
部、4, 010 枚）、展示室見学者は 6, 447 名（特別展示会を含む）であった。

<常設展示会（企画展）>

前年度に引き続き「流行り病を乗り越えて」をテーマとした展示を一部展示替え
をして 2024 年 9 月 20 日（金）まで開催した。（見学者 1, 724 名）

「杏雨書屋の古地図―地図の歴史と日本のかたち―」をテーマとした展示を 2024 年 9 月 30 日（月）から開始した。（見学者 4,723 名）

<特別展示会>

（i）春季：4 月 15 日（月）～6 月 28 日（金）（休館日を除く 50 日間）「近年新収の個人文庫」をテーマに開催した。（見学者：935 名）

（ii）秋季：10 月 15 日（火）～12 月 27 日（金）（休館日を除く 57 日間）「近世の薬品会・物産会」をテーマに開催した。（見学者：3,524 名）

(3) 研究講演会

① 第 49 回研究講演会

日 時：2024 年 4 月 20 日（土）13：00～15：30

場 所：武田科学振興財団 5 階

演 題：「植物学者 早川香邨の植考書屋」

演者：吉川 澄美氏 （日本医史学会 理事）

演 題：「近年新収の個人文庫」

演者：小曾戸 洋氏 （杏雨書屋 副館長）

参加者：85 名

② 第 50 回研究講演会

日 時：2024 年 10 月 19 日（土）13：00～15：30

場 所：武田科学振興財団 5 階

演 題：「浪華の薬品会と江戸の物産会―平賀源内と大坂―」

演者：福田 安典氏 （日本女子大学文学部 教授）

演 題：「ゲノムから読み解くアサガオの歴史」

演者：仁田坂 英二氏 （九州大学理学院 准教授）

参加者：87 名

(4) 貴重図書資料購入

時還読我書 上下続 1 点

配剤扣帳 1 点

本草書籍考 付慶應医史学研究会 1 点

貝原益軒自筆書状 1 点

新製輿地全図 1 点

満州魯西亜疆界図 1 点

七種図 1 点
冬菜図 1 点
小柴胡湯図 1 点
稻生若水・貝原益軒・小野蘭山書状集（五通合装） 1 点
東西蝦夷 山川地理取調図 一箱二十七舗 1 点
徂徠先生周尺考 1 点
医鋼提要全八巻 巻之一～巻之八 1 点
米沢藩医堀内家旧蔵書状・画まくり一括 64 点
秦佐八郎・藤浪鑑葉書 1 点
武田長兵衛（五代）書簡 2 点
白澤避怪図 1 点
神農像 1 点
北里柴三郎書簡 2 巻 （書簡約 20 通） 1 点
宍戸昌関係資料 一括 約 50 点
解体新書 1 点
浅田宗伯書状集 1 点
（新刻汪先生家蔵）医学原理十三巻 1 点
家庭薬箱（大心） 1 点
家庭薬箱（みみとん ワキ胃腸丸） 1 点
万国地球細見全図 1 点

以 上

事業報告附属明細書

別表(1) 2024 年度研究助成 贈呈対象者一覧

別表(2) 2024 年度来日外国人留学者(国/地域別人数)

別表(3) 2024 年度外国人留学者明細

別表(4) 国/地域別外国人留学者数累計

別表(5) 2024 年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2024 年度海外研究留学者明細

別表(7) 第 22 回生命科学シンポジウムポスター褒賞受賞者明細

2024年度 研究助成 概要

武田報彰医学研究助成

大学、研究機関において、教授または教授に相当する立場で研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究への助成

(1件 3,000万円 10件)

ハイリスク新興感染症研究

人類にとって新たにパンデミックの脅威となりうる感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究への助成

(1件 1,000万円 10件)

生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究への助成

(1件 1,000万円 30件)

医学系研究助成

満45歳未満の医学系研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究への助成

(1件 200万円 243件)

医学系研究継続助成

2021年度および2022年度の医学系研究助成対象者で卓越した研究への継続助成

(1件 300万円 32件)

薬学系研究助成

満45歳未満の薬学系研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究への助成

(1件 200万円 41件)

薬学系研究継続助成

2021年度および2022年度の薬学系研究助成対象者で卓越した研究への継続助成

(1件 300万円 5件)

ライフサイエンス研究助成

生命科学分野(医学・歯学・薬学を除く)の満45歳未満の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究への助成

(1件 200万円 42件)

ライフサイエンス研究継続助成

2021年度および2022年度のライフサイエンス研究助成対象者で卓越した研究への継続助成

(1件 300万円 5件)

特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関内の複数の部署・研究室が精力的に取り組む共同研究への助成

(1件 4,300～5,000万円 12件)

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究への助成

(1件 200万円 40件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2021年度および2022年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で、卓越した研究への継続助成

(1件 500万円 15件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2021年度および2022年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究への継続助成

(1件 1,000万円 5件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2021年度および2022年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究への継続助成

(1件 3,000万円 2件)

中学校・高等学校理科教育振興助成

国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、中学校・高等学校の理科教育に貢献する研究または実践への助成

(1件 30万円 70件)

合計562件 23億1,400万円

2024年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています(敬称略)
所属機関・職位は応募時のものです

武田報彰医学研究助成

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
井上 大地	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部 部長	RNAレベルでの遺伝情報制御に基づく造血とがんの統合的理解
城村 由和	金沢大学 がん進展制御研究所 がん・老化生物学研究分野 教授	老化細胞の若返りエピゲノム機構の解明による革新的な健康寿命延伸法の創出
中戸川 仁	東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター 中戸川研究室 教授	オートファジーによる細胞内標的分解の分子基盤と生理的意義
柊 卓志	京都大学 大学院医学研究科 医学専攻生体構造医学講座発生生物学分野 教授	哺乳類着床期発生の細胞動態
FAGARASAN Sidonia	京都大学 大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター 高次統御システム間制御部門 特定教授	免疫系への代謝ストレス刷り込みによるがん免疫応答抑制の分子基盤の解明
増田 隆博	九州大学 生体防御医学研究所 分子神経免疫学分野 教授	脳境界構成細胞を標的とした統合的解析と機能操作による脳形成および中枢性疾患発症メカニズムの理解
松本有樹修	名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学講座 分子発現制御学グループ 教授	翻訳が制御する生命現象の解明と治療戦略の創出
丸山 健太	愛知医科大学 医学部・薬理学講座 教授	RNAウイルスに対する痛覚神経性免疫寛容の包括的研究
三浦 恭子	熊本大学 大学院生命科学研究部(医学系) 老化健康長寿学講座 教授	健康長寿モデル哺乳類ハダカデバネズミがもつ抗老化・加齢性疾患耐性システムの解明と応用
森下 英晃	九州大学 大学院医学研究院 生体機能学分野 教授	新規細胞内分解機構の同定とその原理、意義、関連疾患の解明

計10件

ハイリスク新興感染症研究

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
今村 剛朗	東北大学 大学院 医学系研究科微生物学分野 助教	ザンビア共和国の感染症流行ハイリスク地域における網羅的な敗血症疫学研究
浦木 隆太	国立国際医療研究センター 国際ウイルス感染症研究センター 上級研究員	呼吸器ウイルス感染症感染後の修復メカニズムの解析～病態の理解、そして治療法への応用を目指して～
加藤 哲久	東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野 准教授	新規ブロードスペクトル・抗ウイルス剤標的分子に関する横断的解析
金 玖秀	京都大学 医学研究科 附属医学教育・国際化推進センター 国際化推進部門 准教授	薬剤耐性菌感染症に対する創薬基盤の構築
新中須 亮	愛媛大学 先端研究・学術推進機構 学術支援センター 医科学研究支援部門 感染症研究支援分野 准教授	SFTS GP認識抗体の網羅的評価とその情報を基にした抗SFTS中和抗体標的エピトープワクチン設計および抗体医薬開発に向けた高機能中和抗体の戦略的誘導法の確立
南宮 湖	慶應義塾大学 医学部 感染症学教室 専任講師	ネクストパンデミックを見据えた宿主・病原体一体型コホートの基盤構築
野田 岳志	京都大学 医生物学研究所 微細構造ウイルス学分野 教授	エボラウイルスの増殖機構の構造基盤の解明と治療薬開発への応用

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
浜本 洋	山形大学 医学部 感染症学講座 教授	難治性黄色ブドウ球菌感染症の治療薬の開発
森田 英嗣	弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科細胞分子生物学 教授	未知のコロナウイルスに対応するためのウイルス 粒子形成阻害剤の開発
山根 大典	東京都医学総合研究所 疾患制御研究分野・感染制 御プロジェクト 主席研究員	デングウイルス因子による新規シグナル伝達経路 を介した炎症活性化機構の解明

計10件

生命科学研究助成

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
揚妻 正和	量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所 量子再生医工学研究チーム 主任研究員	脳内恐怖記憶ネットワークの「ハブ」を捉え、制御 する
入江奈緒子	実験動物中央研究所 ライブイメージングセンター 代謝システム研究室 室長	酸素濃度依存的ヒト胚発生分子機構と着床における 役割の解明
上阪 直史	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科(歯学系) 認知神経生物学 教授	発達期脳細胞の同期活動のメカニズムと生理的意 義の解明
上田 貴志	自然科学研究機構 基礎生物学研究所 細胞動態研究部門 教授	新しい膜交通経路はどのように生まれるのか - 膜融合装置の新機能獲得過程の再構築-
内田 周作	名古屋市立大学 大学院医学研究科統合解剖学分野 准教授	ストレスによる行動変容の多様性を創発する脳内 メカニズムの解明
小幡 史明	理化学研究所 生命機能科学研究センター 栄養応答研究チーム チームリーダー	早期ライフステージの栄養制限による寿命伸縮機 構の解明
岸川 淳一	京都工芸繊維大学 応用生物学系 構造生物工学研究室 准教授	ビブリオ属細菌の嫌気的環境下におけるエネル ギー代謝
清中 茂樹	名古屋大学 大学院工学研究科 生命分子工学専攻 清中研究室 教授	次世代ケモジェネティクスによる細胞種選択的な 受容体機能制御の実現
倉永英里奈	京都大学 大学院薬学研究科 創発医薬科学専攻 組織形成動力学分野 教授	上皮組織形成過程における集団細胞移動の作動原 理解明
小柳 悟	九州大学 薬学研究院 グローバルヘルスケア分野 教授	概日時計分子を切り口にした神経障害性疼痛の発 症抑制システムにおける性差の解明
佐藤ゆたか	京都大学 大学院理学研究科 動物学教室動物発生学専攻 准教授	動物胚の経時的遺伝子発現パターン変化を機械学 習と計算によって再現する方法論の開発
澁谷 大輝	理化学研究所 生命機能科学研究センター 配偶子形成研究チーム チームリーダー	テロメラーゼRNAの生殖細胞における発現制御
下林 俊典	京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 准教授	リプログラミング因子が駆動する動的な高次構造の 理解と制御
新明 洋平	浜松医科大学 神経生理学 教授	大脳の発達メカニズムとその機能学的意義
鈴木 団	大阪大学 蛋白質研究所 蛋白質化学研究部門 蛋白質物理生物学研究室 准教授	細胞内熱シグナリングの空間スケールの理解
高橋 重成	京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 分子生物化学分野 准教授	pHストレス応答を司るpH誘導型転写因子の同定
高橋 秀尚	横浜市立大学 大学院医学研究科 分子生物学分野 教授	MED26による迅速な新生RNA鎖合成を介した新 たな核内機能制御機構の解明
田沼 延公	宮城県立がんセンター 研究所・がん薬物療法研究部 部長	普遍的ながん代謝形質と免疫シグナルとの相互作 用
千葉由佳子	北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門 形態機能学II 千葉研究室 准教授	植物カルスから茎葉へ：再分化過程におけるポリ A鎖長制御の重要性

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
寺坂 尚紘	東京工業大学 地球生命研究所 特任准教授	機能性核酸ペプチド複合体進化システムの構築と原始翻訳系の解明
中山 勝文	立命館大学 薬学部免疫微生物学研究室 教授	疎水性病原微粒子センサー機構の解析
平林 祐介	東京大学 大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 神経生物学研究室 准教授	ニューロンにおける新規グルコース代謝経路とその神経活動に果たす役割の解明
廣田 毅	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 Kay-Hirotaグループ 特任准教授	概日時計を調節する新規化合物を用いた非アルコール性脂肪肝炎の解析と制御
福田 晃久	京都大学 大学院医学研究科 消化器内科学講座 准教授	RECKを標的とした新規膀胱癌治療法の開発
松下 祐樹	長崎大学 医歯薬学総合研究科(歯学系) 細胞生物学分野 准教授	がん微小環境におけるがん・間葉系幹細胞・マクロファージの細胞運命と細胞間相互作用の解明
柳田 素子	京都大学 大学院医学研究科 腎臓内科学 教授	霊長類腎臓病学：霊長類に特異的な腎障害修復機構を解明する
山崎 智弘	大阪大学 大学院生命機能研究科 RNA生体機能研究室 特任講師(常勤)	「生物学的ブロック共重合体」研究領域の確立
山城佐和子	京都大学 生命科学研究科 分子動態生理学分野 講師	高精度単分子可視化による細胞-微小環境の力学的情報伝達機構の解明
吉田 千春	大阪母子医療センター 研究所 病因病態部門 主任研究員	多因子による二分脊椎発症メカニズムの解析
渡邊 玲	順天堂大学 大学院医学研究科 皮膚科学 教授	皮膚微小環境を軸とした皮膚resident memory T細胞の構築・機能維持機構の解明

計30件

医学系研究助成

＜がん領域(基礎)＞

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
網代 将彦	国立がん研究センター 研究所・がんRNA研究分野 主任研究員	全長トランスクリプトーム解析による膀胱がん構造多型関連因子の解析
安藤 俊範	広島大学病院 口腔検査センター 助教	頭頸部扁平上皮癌におけるALPK2の転写制御および増殖促進機構の解明
飯田 雄一	島根大学 医学部医学科免疫学 助教	新規がん免疫療法における抗腫瘍メカニズムの解明およびエフェクター細胞の同定
池田 翔	秋田大学 大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座 講師	1q21増幅を有するハイリスク多発性骨髄腫に対するクルクミンアナログを用いた低酸素応答経路HIF1B-HK2軸阻害による新規治療戦略
板橋 耕太	国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫トランスレーショナルリサーチ分野 研究員	早期分化型制御性T細胞を標的とした免疫治療開発
植野さやか	藤田医科大学 医学部 先端ゲノム医療科 講師	合成致死メカニズムを応用した子宮体がん新規治療の開発ー妊孕性温存とがん治療の両立を目指してー
大森 裕文	九州がんセンター 頭頸科 医師	頭頸部癌のリンパ節転移における被膜外浸潤のメカニズムおよび微小環境解析
沖田結花里	筑波大学 医学医療系 実験病理学 助教	がん幹細胞特異的なタンパク質間相互作用に着目したがん幹細胞性誘導機構の解明
押 正徳	横浜市立大学 附属病院 消化器腫瘍外科学 助教	抗腫瘍免疫細胞を引き寄せ活性化をきたすmiR150遺伝子を用いた創薬開発に向けた研究
金谷 信彦	岡山大学病院 消化管外科 医員	大腸癌肝転移に対する微小環境編集用間葉系幹細胞による新規デリバリーシステムの構築

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
北野 雄希	熊本大学病院 消化器外科 特任助教	肝細胞癌におけるGREM1 (Gremlin 1) の上皮間葉転換における機能的役割の解明と薬物治療標的としての有用性の検討
坂本 祥駿	国立がん研究センター 研究所 ゲノム解析基盤開発分野 研究員	ナノボアシークエンサーによるがんゲノム中のDNA付加体同定手法の開発
謝 琳	量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学研究所 先進核医学基盤研究部 標識技術・プローブ開発グループ 主任研究員	uPARを起点とする加齢性疾患のラジオセラノスティクスの開発
章 白浩	理化学研究所 IMS 粘膜免疫研究チーム 上級研究員	セロトニンはセロトニル化を介して腫瘍関連マクロファージの機能を制御する
高山 靖規	昭和大学 医学部 生理学講座・生体制御学部門 講師	イオン動態制御による大腸癌殺滅メカニズムの解明
竹内 千尋	東京大学 医学部附属病院 消化器内科 特任臨床医	腸上皮化生特異的なクロマチン構造異常を標的とした胃癌治療および予防法の確立
中島 正夫	山口大学 大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 診療助教	肝細胞癌の腫瘍免疫原性向上を通じた免疫チェックポイント阻害剤治療限界の克服
NOMURA ANEELA	理化学研究所 生命医科学研究センター (IMS) 免疫記憶研究チーム 研究員	Runx3変異体を用いた疲弊耐性型CAR-T細胞療法の開発
野村 昌志	東京大学 医学部 脳神経外科 助教	Single-nucleus RNA-sequencingを用いた膠芽腫エコシステムの空間的理解
羽澤 勝治	金沢大学 新学術創成研究機構 セルバイオノミクスユニット 准教授	細胞核老化誘導によるがん治療法の開発
藩 龍馬	横浜市立大学 大学院医学研究科 免疫学教室 講師	腫瘍関連マクロファージ関連遺伝子に注目した2型子宮体癌の創薬ターゲットの確立
比嘉那優大	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 脳神経外科 助教	空間的プロテオミクス解析を用いた膠芽腫における意義不明変異の機能解析
日野原邦彦	名古屋大学 大学院医学系研究科 5D細胞ダイナミクス研究センター 特任准教授	がんの悪性進展を司るエピゲノム因子の機能性ドメインスクリーニング
平下 有香	大分大学 医学部 消化器内科学講座 特任助教	タンパク質メチル化修飾に基づく胃粘膜化生上皮発生や発癌メカニズムの解明
深谷 知宏	宮崎大学 医学部医学科 感染症学講座 免疫学分野 助教	形質細胞様樹状細胞の機能抑制分子を標的とするがん免疫治療戦略の開発
藤原 智洋	岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 整形外科 講師	空間マルチオミクス解析による難治性肉腫の腫瘍内不均一性の分子病態理解と新規治療法の開発
札幌 博貴	大分大学 医学部脳神経外科学講座 助教	腫瘍溶解性ウイルス療法とDNA損傷応答阻害療法による悪性髄膜腫の新規治療開発
向井 智美	愛知県がんセンター 研究所 分子腫瘍学分野 研究員	核膜孔複合体構成因子の翻訳後修飾異常による腫瘍進展機構の解明
牟田 優	京都大学 大学院医学研究科消化器内科 特定助教	効率的な細胞内タンパク質の分解誘導を通じた新規大腸癌治療戦略の探索
村岡 大輔	愛知県がんセンター 腫瘍免疫制御TR分野 ユニット長	ヘテロ性腫瘍において標的抗原欠損バリエーションをも直接殺傷する細胞輸注療法の開発
山崎 昌哉	がん研究会 がん研究所 発がん研究部 博士研究員	受容体チロシンキナーゼROR1高発現tumor-initiating cellsを基軸とした腫瘍微小環境が惹起するがん再燃機序の解明
結城加奈子	東京薬科大学 生命科学部生命医科学科 腫瘍医科学研究室 助教	三次元培養による線維化をともなうMDSマウス骨髄微小環境の再現とその解析
横溝 貴子	東京大学 医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞分子医学分野 特任助教	感染記憶造血幹細胞の加齢依存的な再活性化による腫瘍化機構の解明

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
吉田 遼平	旭川医科大学病院 内科学講座 呼吸器・脳神経内科学分野 客員助教	KRAS肺がんにおける治療標的分子の同定と免疫療法耐性機構の克服
芳野 聖子	名古屋大学 大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 分子腫瘍学 助教	染色体外環状DNA陽性がんにおける新規生存必須遺伝子の機能解明
吉本 尚平	福岡歯科大学 生体構造学講座 病態構造学分野 講師	顎骨内悪性腫瘍の骨吸収・結合組織破壊に対する制御法の検討

計36件

<がん領域（臨床）>

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
池田 真也	滋賀医科大学 薬理学講座 特定助教	がん遺伝子パネル検査情報を用いたがん関連血栓症リスク遺伝子の同定と血栓形成メカニズムの解明
一政 克朗	昭和大学 横浜市北部病院 消化器センター 講師	人工知能支援下デジタルパソロジーによる、Stage II大腸癌再発リスク予測モデルの開発
井戸健太郎	大阪公立大学 大学院医学研究科 臨床検査・医療情報医学（血液腫瘍制御学 兼任） 病院講師	難治性血液悪性腫瘍に対する同種造血幹細胞移植におけるイムノペプチドームに基づいた組織適合性の新展開
稲田 浩気	熊本大学 大学院生命科学研究部 消化器内科学 特任助教	空間的遺伝子発現解析の手法を用いた、肝内胆管癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子の解明
井上 彬	大阪急性期・総合医療センター 消化器外科 副部長	大腸癌の肝転移に対する根治切除後のリキッドバイオプシーを用いた新規診断法の臨床開発
尾池 貴洋	群馬大学 重粒子線医学推進機構重粒子線医学研究センター 講師	超解像蛍光顕微鏡と医学物理シミュレーションを組み合わせた重粒子線治療の抗腫瘍効果予測モデルの確立・臨床実装・概念実証
大谷 理浩	岡山大学病院 脳神経外科 助教	マルチオミクス解析を用いた膠芽腫微小環境の解明と、新規免疫療法の開発
岡村 亮輔	京都大学 医学部附属病院 消化管外科 助教	閉塞性大腸癌に対するステント留置後の術前化学療法を用いた新規治療戦略の開発：多施設共同前向き臨床試験
河口 浩介	三重大学 医学部附属病院 乳腺センター 教授	乳がん患者の腸内細菌叢と免疫プロファイルの相互作用に基づく治療戦略の開発
河野まひる	大阪大学 大学院医学系研究科 産科学婦人科学 助教	癌関連血栓症における好中球細胞外トラップの役割
顧 文超	筑波大学 医学医療系 放射線診断IVR 博士研究員	深層学習とRadiomicsを用いた医用画像解析による手術後非機能性脾臓神経内分泌腫瘍肝臓転移予測法の開発
小池 優平	関西医科大学 放射線科学講座 助教	人工知能によるDelta radiomics特徴量に基づいた新規バイオマーカーの開発：非小細胞肺癌における免疫療法効果予測
小林 美恵	国立病院機構 呉医療センター 乳腺外科・臨床研究部 医師・研究員	シングルセルに基づくCDK4/6阻害薬耐性メカニズム解明と乳癌個別化医療開発
小山 大輔	福島県立医科大学 血液内科学講座 講師	骨髄増殖性腫瘍におけるSH2B3変異が寄与する骨髄線維化進展機序の解明と新規治療戦略の開発
軸屋 良介	横浜市立大学 大学院医学研究科 泌尿器科学 助教	腎癌の組織型横断的な比較に基づく最適な薬物療法選択の基盤構築研究
島田 慎吾	旭川医科大学 外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野 助教	肝細胞癌肝切除におけるがん抑制と肝再生促進を同時に目指した革新的治療法の探索

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
杉野 友亮	三重大学 大学院医学系研究科 腎泌尿器外科 医員	筋層浸潤性膀胱癌の術前化学療法の効果予測を目指したゼブラフィッシュ異種移植モデルを用いた薬効評価についての多機関共同前向き研究
鈴木 孝典	名古屋市立大学 大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 病院助教	切除不能肝細胞癌に対するがん免疫療法の治療効果・不応性を予測するバイオマーカー探索
住吉 崇幸	京都大学 医学研究科 泌尿器科学講座 助教	血漿循環腫瘍DNAを用いた分子生物学的解析による転移性前立腺癌のプレシジョン医療の実現
竹安 優貴	関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 助教	進行期固形がんにおける免疫関連有害事象の新規治療戦略の開発
谷合 智彦	東京慈恵会医科大学 外科学講座肝胆膵外科 助教	高悪性度肝細胞癌の癌免疫微小環境の分子生物学的解明と革新的治療法開発
玉城 啓太	琉球大学 大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科） 客員研究員	白血病細胞のミトコンドリアに高発現するナトリウム・グルコース共輸送体2の機能に着目した新規白血病治療法の開発
辻本 信一	横浜市立大学 医学部医科学研究科 発生成育小児医療学教室 助教	小児AML, myelodysplasia related及びAML, not otherwise specifiedにおけるゲノム異常・エピゲノム異常の統合解析による病態解明と予後予測モデルの構築
中川 拓也	千葉大学 健康疾患オミクスセンター 特任講師	Extrachromosomal DNAのエピゲノム異常に着目したウイルス関連癌における発癌分子機構の解明と新規治療標的の探索
錦見 恭子	千葉大学 医学部附属病院 婦人科 助教	卵巣明細胞癌におけるテロメラーゼ逆転写酵素プロモーター変異の意義
野島 聡	大阪大学 大学院医学系研究科・病態病理学 准教授	間質性肺炎を母地に発生した扁平上皮癌の多様性の解析
土師正二郎	九州大学 大学院医学研究院 病態制御内科学分野 助教	単一細胞・空間オミクス解析を用いた多発性骨髄腫細胞・微小環境における治療耐性機構の包括的な解明と治療標的の同定
藤倉 航平	神戸大学 医学部附属病院病理診断科 医学研究員	Cas9/CRISPRスクリーニングによるCirculating tumor cellsの病態解明
藤本 健二	熊本大学 病院 脳神経外科 医員	次世代培養技術を用いた小児脳腫瘍モデルの確立および新規治療標的の探索
藤原奈津美	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 口腔保健医療管理学分野 教授	Fusobacterium nucleatumの増殖・凝集を促進する口腔癌分泌タンパク質の同定とその分泌タンパク質を標的とした治療戦略

計30件

<精神・神経・脳領域>

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
栗生 智香	大阪大学 連合小児発達学研究科 附属子どものこころの分子統御機構研究センター 動物モデル解析部門 助教	交感神経による肝臓貯蔵グリコーゲンの消費応答の成熟機構の解明
飯野 祐介	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構史研究室 研究員	認知的柔軟性の細胞基盤とその破綻メカニズムの解明
石野 誠也	滋賀医科大学 生理学講座・生体システム生理学部門 助教	学習を促進する注意を担う神経メカニズムの解明
岩田 育子	北海道大学病院 脳神経内科 助教	リピート伸長病におけるALS発症機序に関する研究
岩原 直敏	札幌医科大学 神経内科学講座 助教	多発性硬化症における神経変性と一次線毛機能障害の検討

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
江口 貴大	国立長寿医療研究センター ジェロサイエンス研究センター 中枢性老化-骨格筋代謝-運動機能制御研究プロジェクトチーム 研究員	神経筋接合部 (NMJ) の再神経結合制御メカニズムの解明
大井 一高	岐阜大学 大学院医学系研究科 精神医学教室 准教授	遺伝子リスクとエピゲノムリスクの相互作用に基づく統合失調症と双極症の病態解明と診断マーカーの同定
大石 康博	理化学研究所 脳神経科学研究センター 触知覚生理学研究チーム 研究員	光操作・計測を駆使した知覚と幻覚を生成する反響入力仮説の検証
大塚 亮慶	新潟大学 脳研究所脳病態解析分野 助教	老化モデル生物アフリカメダカを用いた成体神経幹細胞の老化表現型の解析
小河浩太郎	大阪大学 大学院医学系研究科神経内科学 助教	制御性T細胞を用いた多系統萎縮症の新規治療法開発
尾崎 弘展	同志社大学 大学院脳科学研究科 脳回路機能創出部門 准教授	深部感覚を活用した脳卒中からの運動機能回復の誘導法の開発
越智 翔平	東北大学 大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野 助教	集団飼育環境における自閉スペクトラム症モデルマウスの行動オミクス解析
小尾 紀翔	群馬大学 大学院医学系研究科 応用生理学分野 研究科 助教	幻覚剤がシナプスに与える作用を背景とした抗うつ効果の基盤となる神経回路の解明
片山奈理子	慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室 助教	うつ病に対するアスピレーションを強化する新しい認知行動療法の治療機序解明研究
菅野 寛志	東北大学 医学系研究科 神経外科先端治療開発学分野・新妻研究室 助教	脳腫瘍および腫瘍周辺細胞群の高精度イメージングフローサイトメトリー
木村 公俊	京都大学 大学院医学研究科 臨床神経学(脳神経内科) 特定講師	中枢神経変性病態におけるミクログリアの精密制御と新規治療開発
久米 広大	広島大学 原爆放射線医学科学研究所 分子疫学研究分野 准教授	LRP12のリピート不安定性とDNAメチル化に関与する遺伝子の探索
小池 佑佳	新潟大学 脳研究所分子神経疾患資源解析学分野 助教	DNAの能動的脱メチル化とDNA損傷に着目した加齢性ALS病態の解明
今野幸太郎	北海道大学 大学院医学研究院 解剖発生学教室 助教	拡張扁桃体におけるGluD1/Cbln1を介したアセチルコリン作動性神経が関与する情報伝達基盤の解明
酒井誠一郎	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 神経炎症修復学分野 助教	脳卒中後の神経回路再構築を誘導する転写調節機構の解明と治療応用
酒本 真次	岡山大学病院 精神科神経科 講師	腸脳相関に着目した摂食障害の病態機序解明と新規治療薬の探索
佐久間理香	兵庫医科大学 医学部 解剖学細胞生物部門 助教	脳ペリサイト幹細胞化の分子機構を利用した脳梗塞新規治療薬の同定
澤田 真寛	京都大学 医学部脳神経外科 特定病院 助教	脳卒中片麻痺患者における人工神経接続の開発
塩田 友果	金沢大学 子どものこころの発達研究センター 日本学術振興会 特別研究員	高機能自閉スペクトラム症の遺伝要因の解明
篠田 紘司	九州大学 大学院医学研究院神経内科学 特任助教	多発性硬化症に対する免疫再構築療法の機序解明とその応用に関する研究
塩飽 裕紀	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 精神行動医学分野 テニユアトラック准教授	統合失調症の新規神経自己抗体病態の解明
高橋 徹	筑波大学 医学医療系 分子行動生理学 櫻井/平野研究室 研究員	睡眠誘導Qニューロンによる恒常的な自律神経系調節
田中 大介	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 認知神経生物学分野 講師	マウス成熟神経細胞を他個体に機能的に移植する方法の開発

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
田中 智子	東京都医学総合研究所 基礎医学研究分野 体内時計プロジェクト 研究員	DOHaD仮説に基づく免疫異常による神経変性機構の解明
田村 俊介	宮崎大学 医学部臨床神経科学講座精神医学分野 助教	多角的脳波解析と計算機シミュレーションによる 統合失調症の異種性の解明
千葉 彩乃	山形大学 医学部 薬理学講座 講師	Midnolinを介したマウスドパミン神経の投射制御メカニズムの解析
戸田 知得	熊本大学 大学院生命科学研究部(医) 中枢性代謝制御学講座 准教授	精神的ストレスが糖尿病を発症させる脳内メカニズムの解明
七浦 仁紀	奈良県立医科大学 脳神経内科 助教	遺伝性精神神経疾患の神経変性機序の解明
西岡 将基	順天堂大学 大学院医学研究科 精神・行動科学 准教授	双極性障害死後脳における体細胞変異の探索
平田 浩二	筑波大学 附属病院 脳卒中科 病院講師	バイオマテリアルを用いた新たな神経細胞培養技術と神経再生医療の開発
深谷 亮太	名古屋大学 大学院医学系研究科細胞生理学 助教	軸索上の異なるコンパートメント間の機能的連関をさぐる
藤巻 基紀	筑波大学 附属病院 脳神経内科 講師	パーキンソン病におけるドパミン神経細胞死は鉄関連細胞死フェロトーシスにより生じるのか？
松平 泉	東北大学 学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部 助教	トリオ脳科学による精神疾患の世代間連鎖の機序の探究
松原 知康	徳島大学病院 脳神経内科 特任助教	グリア細胞に着目した新たな TDP43 プロテノパチーの分子病態
八子 英司	東京都医学総合研究所 疾患制御研究分野 糖尿病性神経障害プロジェクト 主任研究員	ピルビン酸投与による糖尿病性神経障害改善メカニズムの解明

計40件

< 感染領域 >

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
石坂 彩	東京大学 医科学研究所 感染症分野 助教	HIV持続感染と腸内細菌由来の細胞外小胞による慢性炎症の維持機構の解明
今井 一男	埼玉医科大学 臨床検査医学 講師	唾液を活用した梅毒抗体検査ツールの開発およびトレポネーマ分子疫学調査
井本 和紀	大阪公立大学 大学院医学研究科 臨床感染制御学 病院講師	Host-pathogen interactionから迫る多剤薬剤耐性細菌の治療法開発
大石 康平	国立感染症研究所 ウイルス第一部 第一室 主任研究官	エンドヌクレアーゼ阻害剤を用いたインフルエンザウイルスタンパク質PA-Xの性状解析
金丸 栄樹	横浜市立大学 附属病院 麻酔科学講座 助教	ARDS病態形成における硫黄代謝の役割解明と超硫黄分子に焦点をあてた硫黄代謝を介した新たな治療戦略の検討
川筋 仁史	富山大学 学術研究部医学系 感染症学講座 助教	強毒型MRSAの皮膚軟部組織侵入を制御する好中球機能と病原因子の特定
岸川 咲吏	福岡歯科大学 機能生物化学講座 感染生物学分野 助教	周産期から生涯へ：歯周病感染を包括的に解析する
北川 瑤子	京都大学 iPS細胞研究所齋藤潤研究室 特定研究員RPD	iPS細胞由来マクロファージを用いた感染症重症化関連SNPの機能解析およびeQTLデータベース構築
佐藤 裕真	京都大学 医生物学研究所ウイルス制御分野 助教	麻疹ウイルスの中枢神経侵入メカニズムの解明
佐野 芳	国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター 研究員	SARSコロナウイルス2ヌクレオカプシドタンパク質の細胞外放出メカニズムの解明と応用

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
塩田 拓也	宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター 実験支援部門 RI分野 RI清武分室 准教授	グラム陰性菌外膜タンパク質アセンブリーに重要な内部シグナルの認識に関わる分子機構の解明
千葉 志穂	東京大学 新世代感染症センター 特任助教	抗原性の変化の速いウイルスに対抗するための、ユニバーサルワクチン抗原により誘導される防御能の高いヒト抗体の性状解析
中釜 悠	大阪公立大学 大学院医学研究科 寄生虫学 准教授	Viromeキャプチャ・メタゲノミクスによる急性心筋炎における病原体-宿主相互作用の解明
仲屋 友喜	自治医科大学 感染・免疫学講座ウイルス学部門 講師	PreS2領域にHiBiTタグを有するB型肝炎ウイルスレポーターを用いた新規HBs抗原放出阻害剤の探索
西岡 敬介	京都府立医科大学 感染病態学教室 学内講師	気道常在菌に着目した呼吸器ウイルス感染症重症化機構の解析
野澤 敦子	京都大学 大学院医学研究科 微生物感染症学 特定助教	A群レンサ球菌膜孔形成毒素の細胞内受容体の同定と生体内における機能解析
平野 順紀	大阪大学 微生物病研究所 ウイルス制御学 特任助教 (常勤)	エンテロウイルスの病原性解析とウイルスポテアーゼを標的とした創薬開発
町田 晋一	国立国際医療研究センター 研究所・ウイルス構造 機能研究部 テニユアトラック部長	B型肝炎治療法開発に向けたB型肝炎ウイルスXタンパク質(HBx)の構造機能研究
南 昌平	大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野 特任研究員 (常勤)	新型コロナウイルス感染における宿主プロテアーゼFurinの新たな抗ウイルス作用機序の解明
本園 千尋	熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野 准教授	ヒトパピローマウイルス持続感染の根治を目指したプレシジョンメディシンとしてのT細胞免疫療法の開発
森田 大輔	京都大学 医生物学研究所 細胞制御分野 助教	「リポペプチド免疫」の賦活化を基軸とした、新たなワクチン戦略の構築
山口 雄大	国立感染症研究所 細菌第一部第六室 主任研究官	菌周病に起因する非感染性全身疾患の探索とその発症メカニズムの解明
山崎 聖司	大阪大学 産業科学研究所 高等共創研究院 細菌共存学研究分野 (山崎研究室) 准教授	「ヒト・病原細菌・腸内細菌」の新たな共存関係の構築を実現する細菌異物排出ポンプ阻害剤の開発
吉藤 歩	慶應義塾大学 医学部 感染症学 専任講師	腹膜透析カテーテル感染症の制圧を目指して 好中球NETosis—AGEs—細菌バイオフィルムのクロストーク解明
若江 亨祥	国立感染症研究所 ウイルス第二部 第四室 主任研究官	高感度ゲノム挿入部位決定法を用いた、B型慢性肝炎からの多段階発癌モデルの提唱

計25件

< 基 礎 >

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
浅井理恵子	熊本大学 国際先端医学研究機構・形態発生研究室 特定事業研究員	中心体軸キラリティによる心臓領域パターンニング
小豆島健護	横浜市立大学 医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学 助教	超高齢社会の生活習慣病における皮膚組織レニン・アンジオテンシン系の病態生理学的意義の解明
足立 透真	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 病態生化学研究部 リサーチフェロー	小脳発生期アストログリアの生み分けを制御する分子基盤と、その異常の結果生じる病態の解明
安部一太郎	大分大学 医学部附属病院 循環器内科・臨床検査 診断学講座 高度救命救急センター 助教	脂肪酸による前駆脂肪細胞の制御
阿部 洋典	熊本大学 発生医学研究所 染色体制御分野 特任助教	体細胞型コヒーシンスサブユニット RAD21 による減数分裂制御機構の解明

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
飯笹 英一	鹿児島大学 大学院 医歯学総合研究科 社会・行動医学講座心身内科学 助教	IL-3, IL-5受容体下流におけるITAM分子シグナルの機能解明とアレルギー喘息へのその寄与
飯塚 麻菜	慶應義塾大学 医学部微生物学免疫学 特任助教	シェーグレン症候群の発症における新規制御因子の解明
磯部 更紗	国際医療福祉大学 三田病院 心血管センター 講師	血管内皮細胞障害に着目した青黛による薬剤誘発性肺高血圧症の病態解明
井上 忠	慶應義塾大学 医学部小児科 助教	日本人特有のTMEM260遺伝子変異による先天性心疾患発症の分子機構の解明
加藤 勝洋	名古屋大学 医学部附属病院 循環器内科 助教	肺ペリサイトの恒常性維持機構の解明
門松 毅	熊本大学 大学院生命科学研究部 分子遺伝学講座 講師	ミトコンドリア量の制御変容による臓器老化の機構解明
角谷 裕之	川崎医科大学 高齢者医療センター 高齢者総合診療科 副部長(准教授)	マイオカインの筋腎連関を介した腎不全進行抑制の分子機序解明
加納麻弓子	聖マリアンナ医科大学 医学部 代謝・内分泌内科学 助教	胚盤胞補完法を応用した、多発性内分泌腫瘍症1型における副腎腫瘍発生メカニズムの解明
川合 智子	岡山大学 学術研究院医歯薬学域(医) 細胞生理学 助教	卵巣機能疾患の克服にむけた力学応答メカニズムの実態解明
菊池 寛昭	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 茨城県腎臓疾患地域医療学講座 寄附講座助教	AMPKシグナルを基軸とした、尿細管上皮細胞障害機序の解明と慢性腎臓病の治療戦略
北嶋 康雄	広島大学 大学院医系科学研究科 免疫学 テニュアトラック助教・文部科学省卓越研究員	骨格筋量維持のための免疫制御機構の解明
黒崎 祥史	北里大学 医療衛生学部医療検査学科 臨床化学研究室 講師	急性腎障害時の尿細管修復における低酸素応答誘導因子HIF-1 α の役割と慢性腎臓病への移行におよぼす影響について
黒滝 大翼	熊本大学 国際先端医学研究機構 免疫ゲノム構造学研究室 特任准教授(独立PI)	クロマチン高次構造トポロジカル関連ドメインの免疫学的機能の解明
小西 聡史	京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 後藤研究室 特定拠点助教	精密切断肺スライス培養を用いた肺線維症におけるtransitional stem cell stateの線維化駆動メカニズムの解明
小森 里美	神戸大学 大学院医学研究科 生化学・分子生物学 講座 生体シグナル制御学部門 特命助教	樹状細胞における新たな生存制御機構の解明
佐伯龍之介	京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学講座 助教	クローン性造血のマルチオミックス解析による、新規予防医療の基盤構築
齊藤(後藤) 紗希	東京都医学総合研究所 ゲノム医学研究センター 研究員	創薬応用を目指した薬剤誘導性 eRNA による遺伝子発現制御機構の解明
崎谷 直義	産業技術総合研究所 生命工学領域 健康医工学研究部門・運動生理学 バイオメカニクス研究グループ テニュア研究員	運動による非アルコール性脂肪肝の改善効果の分子メカニズム解明と疑似運動刺激を利用した新規治療法開発の基盤構築
佐久間一基	千葉大学 大学院医学研究院 分子病態解析学 特任准教授	FBP1ノックダウンマウスを用いたフルクトースによる代謝関連脂肪性肝疾患進展のメカニズム解析
櫻井 千恵	鳥取大学 医学部 生命科学科 分子生物学 助教	自然免疫におけるSNAP23を介した膜融合経路の使い分け
佐々木 泉	和歌山県立医科大学 先端医学研究所 生体調節機構研究部 講師	自己炎症性疾患モデルマウスにおけるインフラマソーム機能異常の分子基盤とその病理的意義
佐野 宗一	国立循環器病研究センター 研究所 心血管モザイク研究室 独立型研究室長	血液のX染色体喪失と心血管疾患についての研究
佐野 拓人	日本歯科大学 新潟生命歯学部 病理学講座 助教	象牙芽細胞再生過程における樹状細胞の時空間ダイナミクスと機能プロファイリング

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
清水 誠之	大分大学 医学部・細胞生物学講座 助教	X連鎖性ミオチューブラーミオパチーに合併する肝類洞の脆弱化機構の解明
城(渡辺) 愛理	順天堂大学 生化学第一講座 特任准教授	重炭酸イオン受容体による脳血流制御機構の解明
白井 雄也	大阪大学 医学系研究科 遺伝統計学 助教	ゲノム-プロテオミクスの統合解析による間質性肺疾患の線維化病態の解明
杉原 康平	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫微生物学 助教	腸内細菌-腸上皮の栄養シグナルによる腸粘膜治癒メカニズムの解明
高士 祐一	福岡大学 医学部 内分泌・糖尿病内科学講座 講師	健康長寿を目指した生体のリン感知機構の解明
高田 裕貴	大阪公立大学 大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス研究所寄附講座 特任研究員	精子中心体の挙動が受精卵の第一分裂における染色体分配エラーの発生に及ぼす影響の解明
高橋 望	東京大学 医学部 産婦人科学教室 届出研究員	卵胞内局所環境に着目した加齢卵子における翻訳異常発生機序の解明
舘越 勇輝	札幌医科大学 薬理学講座 助教	内皮細胞が制御する耐糖能と5S-GlcNHexの新規糖尿病治療薬としての可能性
田村 彰吾	北海道大学 大学院保健科学研究院 病態解析学分野 血管再生制御研究室 准教授	巨核球サブセット分化制御技術の分子基盤構築
樽本 雄介	京都大学 医生物学研究所 幹細胞遺伝学分野 助教	遺伝子制御ネットワークの動態操作による細胞の分化制御
張 維東	宮崎大学 医学部医学科 生体制御医学研究講座 特別講師	糖代謝を制御する新規ペプチドの探索と新たな膵ベータ細胞機能制御機構の解明ならびに糖尿病治療に向けた研究
寺谷 俊昭	慶應義塾大学 医学部先進炎症性腸疾患治療開発教育寄付研究講座 特任准教授	栄養素嗜好形成における腸内細菌の役割に関する研究
遠田 悦子	日本医科大学 解析人体病理学 教授	がんにも炎症性疾患にも有効なマクロファージ制御薬の開発
中倉 敬	帝京大学 医学部 解剖学講座 講師	有窓型毛細血管の分化を制御する転写因子の同定とその調節機序の解明
中里 亮太	広島大学 大学院医系科学研究科 解剖学及び発生生物学研究室 助教	ヒトにおける一次繊毛のリズムが胚発生と成体機能にもたらす役割の解明
中溝 聡	京都大学 大学院医学研究科 先端医療基盤共同研究講座(皮膚科兼任) 特定講師	多核巨細胞の機能解析に基づくサルコイドーシスの病態解明
橋本 亨	九州大学 大学院医学研究院循環器内科学分野 助教	右心不全におけるSalt-inducible kinasesの病態生理学的機能の解明と治療基盤開発
浜谷 博子	群馬大学 大学院医学系研究科 内科学講座 腎臓・リウマチ内科学分野 助教	糖尿病関連腎臓病における糸球体上皮細胞のATOX8遺伝子の機能の解明
林 和寛	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 リハビリテーション科学コース 先端理学療法学講座 生体構造学分野 助教	慢性筋痛に対するプレガバリンと運動療法が示す相乗効果のメカニズム
半田 悠	北海道大学 医学研究院 分子生物学教室 助教	ミトコンドリア膜タンパク質の配向性が酸化的リン酸化に及ぼす影響とその分子基盤の解明
常陸 圭介	藤田医科大学 医科学研究センター 難病治療学研究部門 講師	新規筋萎縮モデルマウスを用いた筋萎縮進行機構の解明と治療法開発
日野 智博	京都府立医科大学 循環器腎臓内科 病院助教	シトシン塩基編集ツールの高精細化による実用可能なin vivoゲノム編集ツールの開発
堀井 和広	岐阜大学 医学系研究科 生命原理学講座 生理学分野 助教	先端OCT装置を駆使した蝸牛Hook region有毛細胞の高調波受容の実証

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
堀居 直希	熊本大学 発生医学研究所 筋発生再生分野 研究員	非典型PKCが担う骨格筋幹細胞の老化制御とサル コペニア予防治療への応用
前 伸一	京都大学 iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門 長船研究室 特定拠点講師	iPS細胞を用いた次世代型腎集合管嚢胞モデルの 開発
前岡侑二郎	広島大学病院 腎臓内科 助教	SGLT2 阻害薬と MR 拮抗薬の併用による高 K 血 症減少機序の解明
松田 潤	大阪大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学講座 特任助教	GITによるポドサイト保護効果の分子メカニズム 解明
三浦 綾子	宮崎大学 医学部 機能制御学講座・薬理学分野 助教	腎糸球体スリット膜の力学的バランス維持におけ るアクチン重合促進因子の機能解析
水池 彩	国立感染症研究所 品質保証・管理部 第一室 主任研究官	非選択的脂質輸送タンパク質による脂質代謝制御 機構とその生理的意義の解明
三田雄一郎	同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 システム生命科学研究室 助教	超硫黄制御によるインスリン抵抗性改善法の確立
宮本 拓馬	奈良県立医科大学 整形外科教室 博士研究員	統計的形状モデルを用いた荷重時足・足関節にお ける筋骨格3次元形態評価の構築
向田 昌司	岡山理科大学 獣医学部獣医学科 獣医薬理学講座 講師	頸動脈老化の分子基盤解明
村上 隆亮	京都大学 大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 助教	小胞体ストレス応答に着目した膵ベータ細胞増殖 誘導機構の解明
村田 知弥	筑波大学 医学医療系・実験動物学研究室 助教	心臓恒常性維持に必要なRBPダークインタラク トームの解明
本橋 紀夫	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 室長	脂質代謝活性化による筋骨格系疾患の治療法創出
安田 大恭	秋田大学 大学院医学系研究科 生体防御学講座 講師	生理活性リゾリン脂質によるリンパ管弁形成の分 子機構と病態制御機能
矢作 綾野	東京女子医科大学 医学部解剖学 (顕微解剖学・形態形成学) 助教	炎症下トロンボポエチンによるリンパ球系細胞制 御メカニズムの解明
山田 紘実	理化学研究所 生命医科学研究センター 非コードゲノム機能研究チーム 特別研究員	核内構造と空間配置が確立する転写状態の解明
湯川 将之	愛媛大学 大学院医農融合公衆衛生学環 生物統計学講座 講師	T細胞活性化におけるヘテロクロマチン3次元構造 の役割と免疫疾患への影響
吉井 顕	東京慈恵会医科大学 内科学講座循環器内科 助教	温度とエネルギー代謝を介した心不全の新たな病 態機序の探求
好川 貴久	京都大学 医学部附属病院 腎臓内科 特定病院助教	腎三次リンパ組織の形成メカニズムの解明と治療 法の開発
吉田 尚史	国立循環器病研究センター 研究所 心血管老化制御部 研究室長	新しい心房細動モデルマウスを用いて行う心房細 動の発症機序解明研究
劉 孟佳	東京慈恵会医科大学 細胞生理学講座 特任講師	心臓発生における心内膜由来マクロファージの役 割の解明
綿貫慎太郎	国立国際医療研究センター 研究所 生体恒常性プロジェクト 特任研究員	単一細胞代謝解析を活用した加齢造血幹細胞の代 謝変化解明と回復戦略の開発

計72件

< 臨 床 >

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
秋葉 和壽	国立成育医療研究センター ダイバーシティ研究室 リサーチアソシエイト	ヒト先天性高インスリン性低血糖症患者の摘出脾 臓を用いた分子病態解明と治療ターゲットの探索

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
浅島 弘充	筑波大学 医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学 講師	B細胞のチェックポイント分子発現から考える自己免疫病態の解析
生島 弘彬	東京大学 医学部附属病院 呼吸器内科 助教	呼吸器の病的老化を評価するAI解析系の確立と新規病的老化因子の同定
石川 正昭	兵庫県立尼崎総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医長	他臓器好酸球性疾患を併発する慢性副鼻腔炎に特異的な副鼻腔因子の探索と診断法の確立
井泉瑠美子	東北大学 医学部 神経内科 助教	封入体筋炎における液性免疫応答の病態解明と治療標的分子の探索
市村 裕輝	東京女子医科大学 内科学講座 膠原病リウマチ内科学分野 助教	筋組織Transcriptome解析を用いた、皮膚筋炎/多発筋炎と膠原病合併筋炎の分子機構の解明と新規血清疾患マーカーの同定
井上 大輔	金沢大学 医薬保健学域総合研究科機能再建学 助教	整形外科手術後インプラント周囲感染を予防する画期的な新規抗菌活性物質の探索
大内亜由美	順天堂大学 医学部附属浦安病院 眼科 准教授	網膜マイクログリアの極性制御をターゲットとした糖尿病網膜神経障害の新規治療法開発
岡田 啓	東京大学 大学院医学系研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座 特任講師	機械学習を解釈可能な形にして駆使した非感染疾患への実用的エビデンス構築
小野 喬	東京大学 医学部 眼科学教室 助教	リン脂質のリサイクル不全による網膜色素変性の発症機構解明と新規治療法創出
勝俣 良紀	慶應義塾大学 医学部スポーツ医学総合センター 講師	呼吸による非アルコール性脂肪肝炎の早期スクリーニング技術の開発
加藤 貴史	国立病院機構東京病院 臨床研究部 生化学研究室・呼吸器内科 副室長・医師	上気道・下気道・全身の慢性炎症に着目した、誤嚥性肺炎の病態解明のためのトランスレーショナル研究
木藤 雅文	熊本大学 放射線診断学講座 助教	心臓CTを用いた心筋症の診断戦略の構築
楠瀬 賢也	琉球大学 大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 教授	遠隔医療における高精度心不全検出のための画像診断AI開発
甲能 武幸	慶應義塾大学 医学部耳鼻咽喉科学教室 専任講師	再発性呼吸器乳頭腫症におけるHPV増殖機構の解明と新規治療標的の探索
小平 真幸	慶應義塾大学 医学部 循環器内科 助教	成人先天性心疾患の患者教育におけるバーチャルリアリティと3Dプリンティングモデルの比較研究
後藤 聡	大阪大学 大学院医学系研究科 眼科学 特任助教	網膜色素上皮を介した萎縮型加齢黄斑変性の病態解明
小西健一郎	北里大学 医学部 一般・小児・肝胆膵外科学 診療講師	壊死性腸炎の早期診断・病勢評価法確立に向けて
小林 達也	藤田医科大学 医療科学部 研究推進ユニット レギュラトリーサイエンス分野 准教授	凍結融解胚盤胞移植における顆粒球マクロファージ刺激因子による胚盤胞着床促進作用を検証するための多施設共同ランダム化比較試験
齋藤 夏美	自治医科大学 医学部 形成外科学講座 助教	糖尿病足病変の創傷治癒能に対する脂肪血管内皮前駆細胞の分泌因子の影響
酒井 和哉	奈良県立医科大学 輸血部 講師	先天性血栓性血小板減少性紫斑病の潜在的な微小血栓形成に対して腸内細菌叢が及ぼす影響
佐々木広和	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 膠原病・リウマチ内科 助教	PD-1の発現制御に着目した自己免疫疾患におけるT細胞疲弊回避メカニズムの探索
柴田 彩	東京大学 大学院医学系研究科・皮膚科 准教授	表皮角化細胞における細胞記憶の蓄積および慢性炎症性皮膚疾患の難治化機構の解明
白柏 魅伶	京都大学 医学部附属病院 免疫・膠原病内科 特定病院助教	全身性エリテマトーデスに自律神経-腸内細菌軸が関与するメカニズムの探究

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
白木 敦子	京都大学 医学部附属病院 集中治療部 助教	オピオイドの使用がDNA損傷応答にもたらす影響の検討
高島 翔太	北海道大学 大学院医学研究院皮膚科学教室 助教	スプライシングによる表皮基底膜構造タンパクの多様性の解析とその意義の解明
竹下 勝	慶應義塾大学 医学部 リウマチ膠原病内科 専任講師	自己免疫疾患の病変局所における自己免疫機構の解明
館野丈太郎	大阪大学 大学院医学系研究科 生体統御医学講座 救急医学教室 特任助教	エンリッチメント戦略を用いた外傷診療における個別化治療法の開発
富永颯太郎	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 助教	クローン病の小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術がSIBO、腸内細菌叢、体組成へ与える影響の解明
永井 康一	横浜国立大学 附属病院 産婦人科 診療講師	アポトーシス関連分子に基づくGnRHアナログによる子宮筋腫縮小機序の解明と効果予測
中尾佳奈子	国立成育医療研究センター 研究所 分子内分泌研究部 上級研究員	希少難治性副腎腫瘍に対するリキッドバイオプシー系の開発
長坂 明臣	神戸大学 医学研究科 内科系講座 小児科学分野 造血幹細胞医療創成学 特命講師	単球サブセット解析による血管炎症病態の解明と臨床への応用
新村 貴博	徳島大学病院 総合臨床研究センター 特任助教	フェノミクス解析を基盤としたサルコペニア治療薬の探索
二宮 開	岩手医科大学 附属病院 循環器内科 助教	冠動脈病変の圧勾配パターン (PPG index) が患者QOLに与える影響
納富 昭司	九州大学 大学院 医学研究院 眼科学分野 助教	網膜におけるオートファジー系小胞輸送の機能解析と加齢黄斑変性に対する治療標的の探索
則兼 敬志	香川大学 医学部 放射線医学講座 学内講師	FlowMotion technologyとpower injectorを用いた新たな全身PET angiographyの構築
広田 雅和	帝京大学 医療技術学部視能矯正学科 講師	網膜を高分解能で刺激する網膜走査型多局所網膜電図の広角化および網膜疾患の早期発見を目指した網膜機能図の作成
三浦 紘世	筑波大学 医学医療系整形外科 講師	腰部装着型サイボーグを用いたロボットリハビリテーションによる高齢者の廃用予防と健康寿命延伸への取り組み ー多施設前向き非盲検化比較試験ー
三瀬 広記	岡山大学 学術研究院医歯薬学域 腎・免疫・内分泌代謝内科学 客員研究員	糖尿病網膜症と腎症における新規進展バイオマーカーと機序の解明
和田 智貴	東京大学 医学部附属病院 救急・集中治療科 助教	定量的画像解析により解剖学的情報を反映する急性腎障害診断基準の構築

計40件

医学系研究継続助成

<がん領域(基礎)>

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
浅田 健	理化学研究所 革新知能統合研究センター がん探索医療研究チーム 上級研究員	日本人肺がん症例における特異的プロモーター活性によるアイソフォーム発現と臨床的意義解明
植田 航希	福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座 講師	単細胞クローン追跡による、前白血病病変から急性白血病への進展機序の解明と進展を予防する治療の開発
内原 脩貴	慶應義塾大学 薬学部・分子腫瘍薬学講座 助教	DNA損傷により惹起される5'非翻訳領域由来の翻訳産物を介したネオアンチゲン産生経路の解明
齋藤 敦	広島大学 大学院医系科学研究科 分子細胞情報学 准教授	エピゲノム編集技術による膠芽腫の治療法と診断法の開発

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
星居 孝之	千葉大学 大学院医学研究院分子腫瘍学 准教授	ヒストン制御酵素間ネットワークを介したがん進展制御機構の解明

計5件

<がん領域(臨床)>

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
青木 一成	京都大学 医生物学研究所 幹細胞遺伝学 助教	CXCL12-CXCR4軸による多発性骨髄腫細胞制御に必須の細胞内分子の網羅的探索とin vivo機能解析
笠島 裕明	大阪公立大学 大学院医学研究科 消化器外科 病院講師	抗原提示性癌関連線維芽細胞が腫瘍免疫に及ぼす影響の解析と大腸癌免疫治療への応用
加藤 侑希	日本大学 医学部 生体構造医学分野 助教	婦人科癌の早期診断を可能にする脂質代謝バイオマーカーの開発
松田 諭	慶應義塾大学 医学部 外科学(一般・消化器) 助教	食道癌における宿主と腫瘍の双方向評価による腫瘍モニタリングシステム確立と炎症凝固異常のメカニズム解明を介した新規治療開発
渡辺 隆太	愛媛大学 大学院医学系研究科 泌尿器科 助教	Intraductal carcinoma of the prostate (IDCP)の病理学的特徴を持つ前立腺癌組織における遺伝子変異解析とプレシジョンメディスンへの応用

計5件

<精神・神経・脳領域>

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
林 到炫	京都大学 大学院医学研究科 分子細胞情報学 助教	ドパミン受容体における新規バイアスリガンドの探索
久保田 学	京都大学 大学院医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学) 講師	超高磁場MRI装置を用いた統合失調症の病態生理と脳内グルタミン酸・GABAとの関連についての研究
古賀 啓祐	兵庫医科大学 医学部 生理学 神経生理部門 助教	前帯状皮質を介する新しい疼痛制御回路機構の解析
越山 太輔	東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野 助教	統合失調症の神経生理学的異常所見と大脳白質構造異常との関連解析
高橋 真有	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 システム神経生理学 講師(キャリアアップ)	選択的注意を支える眼球運動を抑制する脳内メカニズムの解明
田中 良法	岡山理科大学 獣医学部獣医学科生化学講座 助教	核タンパク質TDP-43の細胞質内蓄積におけるプログラニュリンの役割

計6件

<感染領域>

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
小林進太郎	北海道大学 大学院獣医学研究院 獣医学部門 衛生学分野 公衆衛生学教室 准教授	フラビウイルス感染で起こる核膜消失による核と小胞体のオルガネラ間コミュニケーションの感染病理学的意義の解明
日吉 大貴	長崎大学 熱帯医学研究所 細菌学分野 准教授	ネズミチフス菌のT3SS-2を用いた新規全身感染メカニズムの解析
門出 和精	熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座 助教	HIV-1の新規レトロトランスポゾン様複製機構の解明

計3件

< 基 礎 >

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
岡 泰由	名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野 講師	ホルムアルデヒド代謝異常により発症する遺伝性疾患の分子病態解明
加塩麻紀子	自然科学研究機構 生理学研究所 細胞生理研究部門 特任准教授	体温センサーTRPM2体温下活性制御とシグナロソーム形成メカニズムの解明
河合 喬文	大阪大学 大学院 医学系研究科 統合生理学教室 助教	精子における持続的な膜電位信号の生成メカニズムとその膜機能制御
柴田 峻	東北大学 大学院医学系研究科 情報遺伝学分野 有馬隆博研究室 助教	ヒト着床アセンブロイドへの母体免疫システムの導入と胎児免疫寛容機構の理解
鈴木 歩	埼玉医科大学 医学部 ゲノム基礎医学・奥田研究グループ 講師	減数分裂の抑制とその解除のメカニズムの解明
塚崎 雅之	東京大学 大学院医学系研究科 骨免疫学寄付講座 特任助教	免疫-骨-血管の多臓器システム連関を基軸とした血管石灰化機構の解明
藤原 祥高	国立循環器病研究センター 研究所 先端医療技術開発部 部長	遺伝子組換え動物を用いた哺乳類精子の受精能獲得機構の解明
丸山 和晃	三重大学 大学院医学系研究科 修復再生病理学 学内講師	発生学的解析に基づく脈管奇形の病因解明・新規治療法開発
三宅 健介	東京医科歯科大学 高等研究院 炎症・感染・免疫研究室 特任助教	アトピー性皮膚炎患者における好塩基球の役割の包括的理解

計9件

< 臨 床 >

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
岡田 寛之	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター臨床医工学部門 助教	リアルワールドデータと生細胞内シーケンスを駆使し、マルチレイヤーエビデンスで挑む骨折予防
河野 通仁	北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科（北海道大学 大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室） 助教	細胞内代謝に注目した強皮症の病態解明
福島 清春	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学 特任助教（常勤）	空間的遺伝子発現解析を併用したシングルセルRNA-seqによる肺線維症の統合的理解と臨床応用
宮脇 哲	東京大学 医学部脳神経外科 准教授	髄膜腫の網羅的遺伝子解析と病理組織画像の深層テクスチャ解析に基づく新規の予後予測モデル開発

計4件

薬学系研究助成

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
赤沼 伸乙	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 薬剤学研究室 准教授	糖尿病網膜症病態抑制の実現に向けたリポ多糖誘発性血液網膜関門P-糖タンパク質減弱機構における創薬標的の同定とその有望性実証
浅原 時泰	大阪大学 大学院薬学研究科 創成薬学専攻 生体構造機能分析学分野 准教授	創薬ターゲット探索の加速化に資するグラフェン-蛋白質複合化技術の開発
阿部 光	微生物化学研究会 微生物化学研究所 有機合成研究部 上級研究員	新奇骨格・新規作用機序を有する天然物の全合成に基づく抗グラム陰性菌薬の創製
池田 貴子	京都大学 薬学研究科 代謝ゲノム薬学分野 助教	新規脂肪酸受容体GPR164の腸管恒常性維持に対する役割
石川 一也	岡山大学 学術研究院医歯薬学域・薬学部 分子生物学分野 助教	血液分解産物ビリルビンの植物における生理学的機能の解明
植田 圭祐	千葉大学 大学院薬学研究院 製剤工学研究室 助教	Suspended-state 15N NMR法を活用した核酸搭載脂質ナノ粒子製剤開発基盤の確立

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
王 超	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 元素創薬合成化学研究室 准教授	含ハウ素、ケイ素医薬候補化合物の創出に指向した新規分子変換反応の開発
樫尾宗志朗	東京大学 薬学系研究科遺伝学教室 助教	酵素局在と消費制御から紐解く代謝安定化機構の解明
加藤 百合	九州大学 大学院 薬学研究院 生理学分野 助教	ミトコンドリア機能修復を指向した超硫黄代謝の制御機構の解明
金尾 英佑	医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト 研究員	次世代“プロテオーム”シーケンシングに向けた分離解析基盤の創成
河野 健一	京都大学 大学院 薬学研究科 薬品機能解析学分野 助教	がん診断と新薬標的分子の探索に向けた細胞外小胞のオールインワン分離解析デバイスの開発
紅林 佑希	静岡県立大学 大学院薬学研究院 生化学講座 助教	糖鎖生物学を基盤としたノロウイルス感染因子の解析とウイルス感染制御への利用
笹野 裕介	東北大学 大学院薬学研究科 合成制御化学分野 講師	アルカロイドの空気酸化的誘導体化法の開発
佐藤 卓史	熊本大学 大学院生命科学研究部(薬学系) 生命分析化学分野 助教	野生型ATTRアミロイドーシスの免疫療法に向けたトランスサイレチンの凝集体分子種に基づいた抗体医薬開発
柴田 佳太	昭和大学 薬学部 基礎医療薬学講座 薬理学部門 准教授	真菌由来化合物群を用いた糖尿病性網膜症の新たな治療戦略の構築
周 越	富山大学 学術研究部(薬学・和漢系) がん細胞生物学研究室 助教	がんの悪性進展における受容体型チロシンキナーゼEphA2の機能
高田 春風	徳島大学 大学院医歯薬学研究部(薬学域) 薬物動態制御学分野 特任助教	EPR効果を超える酸性環境選択的デリバリーシステムの開発
瀧川 紘	京都大学 大学院薬学研究科 薬品合成化学分野(高須研究室) 准教授	ベンザインを用いた芳香環含有生物活性分子の創製研究
武田 紀彦	神戸薬科大学 薬品化学研究室 准教授	チオアミドの求電子活性化を基盤とした分子変換および含硫黄医薬品シーズの創製
多田 壘	東京薬科大学 薬学部・免疫学教室 准教授	真菌症克服に向けた細胞壁多糖特異的プローブを用いた標的指向型ナノ粒子製剤の開発
谷口 敦彦	東京薬科大学 薬品化学教室 准教授	進化分子工学的環状ペプチドスクリーニングを基盤としたBCL6ホモ二量化タンパク質間相互作用阻害薬の創出
田原 進也	東北大学 大学院薬学研究科 分子薬科学専攻 生物構造化学分野 助教	神経変性疾患原因タンパク質の液-液相分離と共凝集の関係
出山 諭司	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室 准教授	共感疲労の分子神経メカニズムの解明と治療的介入法開発の基盤研究
土井 直樹	岐阜薬科大学 薬物送達学大講座 薬品物理化学研究室 講師	微小温度変化によりがん細胞内移行を積極化する生体適合性ボトルブラシの開発
長井 紀章	近畿大学 大学院薬学研究科 薬学部医療薬学科 教授	ナノマテリアルを装填した抗VEGF抗体点眼液の開発と網膜症治療に向けた新戦略
長野 一也	和歌山県立医科大学 薬学部・病態解析学研究室 教授	健康寿命の延伸を目指した、「安全域に着目した分子標的機能性食品」という新規開発戦略の構築と有用性の実証
野崎 優香	東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 分子病理・代謝学教室 助教	細胞外ミトコンドリアが媒介する免疫応答を利用した新規敗血症治療戦略
樋川 舞	福岡大学 薬学部 薬物送達学 准教授	自己成分を利用して核酸をがんまで運ぶ次世代難治性がん治療戦略
濱田 圭佑	東京薬科大学 薬学部 医療薬物薬学科 病態生化学教室 助教	肝細胞選択的な膜タンパク質分解誘導剤の開発

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
松本 准	岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 (薬学系) 疾患薬理制御科学分野 助教	既存薬から見出すがん薬物併用療法における理想的な新規創薬ターゲット分子の特定
道永昌太郎	明治薬科大学 薬学部 薬効学研究室 講師	Smoothenedを治療標的とした外傷性脳損傷に対する新規治療薬の創薬研究
宮本 和範	東京大学 大学院薬学系研究科・基礎有機化学教室 准教授	反転シグマ結合化学種の創生とその性質の解明
村井 健一	大阪大学 大学院薬学研究科 医薬合成化学分野 講師	創薬化学に資するシラサイクルの新規合成戦略の開発
村上 遼	神戸学院大学 薬学部・有機反応化学研究室 助教	不斉脱芳香族的環化反応が拓く三次元多環性骨格の合成
山口 桃生	静岡県立大学 薬学部 薬理学分野 助教	膵肝連関に着目した高血糖によるNASH 進展トリガーシグナルの解明
幸 龍三郎	京都薬科大学 薬学部 生化学分野 助教	スプライシング因子によるがん細胞分裂の支持機構を標的とした核酸医薬治療法の開発
吉岡 弘毅	岐阜医療科学大学 薬学部薬理学分野 講師	劇的な感受性時刻差を示すカドミウム毒性から導き出す毒性防御因子の探索
吉田 優哉	九州大学 大学院 薬学研究院 薬物動態学分野 助教	真の尿毒症物質に着目した腎-腸-心連関機構の解析
米澤 淳	慶應義塾大学 薬学部 統合臨床薬理学講座 教授	抗体医薬品に対する抗薬物抗体の多様な機能特性の解析
寄立 麻琴	九州大学 薬学研究院 薬物分子設計学分野 助教	ホウ素化糖の多量化による新奇糖構造体の合成および物性評価とDDSへの応用
渡邊 瑞貴	北海道大学 大学院薬学研究院 天然物合成化学研究室 准教授	ペプチド創薬基盤となるタンパク質二次構造ミメティクスの創出

計41件

薬学系研究継続助成

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
内田 康雄	広島大学 大学院医系科学研究科 (薬) 分子システム薬理学 教授	ヒトの血液脳関門および血液クモ膜関門における新規の薬物輸送機構の解明
南條 毅	京都大学 大学院薬学研究科薬品分子化学分野 助教	主鎖アミドの活性化に基づく特殊ペプチドの自在合成法の確立
三宅 崇仁	京都大学 大学院薬学研究科創発医薬科学専攻 システムバイオロジー分野 助教	翻訳制御エレメントuORF を介した温度による生物時計位相制御メカニズムの解明
山次 健三	千葉大学 大学院薬学研究院・薬品合成化学研究室 教授	タンパク質化学修飾技術によるプレターゲットング法の革新と α 線内用療法への展開
吉村 彩	北海道大学 薬学研究院・天然物化学研究室 助教	微生物の休眠遺伝子由来天然物の開拓による抗菌性化合物ライブラリーの拡張

計5件

ライフサイエンス研究助成

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
浅岡真理子	神奈川大学 理学部理学科生物分野 西谷和彦研究室 特別助教	植物の形態形成過程でみられる細胞死の研究
安部健太郎	東北大学 大学院生命科学系研究科・脳機能発達分野 教授	生体内転写因子活性のハイスループット測定技術の確立
雨宮誠一郎	理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経回路・行動生理学研究チーム 研究員	エピソード的シミュレーションを規定する神経基盤の解明

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
井木太一郎	大阪大学 大学院生命機能研究科 時空生物学講座 生殖生物学研究室 准教授	タンパク質をコードするゲノムの情報を非コード 化させる現象の解明
伊藤 将	大阪大学 蛋白質研究所 ゲノム-染色体機能研究室 助教	卵細胞の品質管理機構の解明と加齢・疾患により 低下する妊娠能力の回復への応用
岩田 哲郎	東京工業大学 生命理工学院 生命理工学コース 廣田研究室 助教	雌特異的な胎生致死を示すマウスの原因解明とそ のメカニズム
VAVRICKA CHRISTOPHER	東京農工大学 大学院工学研究院 生命機能科学部門 テニユアトラック准教授	機械学習に基づく抗がん性インドールとしてのプ ロドラッグによる治療と検出のための酵素の選択 と設計
上地 浩之	東北大学 学際科学フロンティア研究所 (上地研究室) 助教	細胞膜上タンパク質相分離による生体内細胞接着 形成機序
植松 朗	産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究 部門心身機能モデル化研究グループ 主任研究員	危険と安全を見極める脳内メカニズム—予測誤差 の新規機能解明—
氏原 嘉洋	名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 医用生体工学研究室 准教授	脊椎動物の進化に伴う心筋細胞核の力学特性の変 遷：そのメカニズム、意義、および代償の包括的 理解
金丸 佳織	東京理科大学 創域理工学部生命生物科学科 中村研究室 助教	リン脂質代謝酵素による細胞外小胞形成制御機 構とその生物学的意義の解明
川澄遼太郎	東京都立大学 理学研究科化学専攻生物化学研究室 特任助教	簡便なssDNAギャップ検出法の開発
木村善一郎	呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 准教授	電気を食べる細菌「Sporomusa sphaeroides」の 内在性Cas3システムによる高速・多機能ゲノム改 変技術の確立
木矢 剛智	金沢大学 理工研究域・生命理工学系・生物科学 コース・昆虫分子生物学研究室 准教授	活動依存的遺伝子発現を利用した昆虫の生得的行 動を規定する神経回路の同定と解析
小沼 剛	横浜市立大学 大学院生命医科学研究科 構造エピゲノム科学研究室 助教	ヒストンのクロトニル化を起因としたがん細胞 増殖機構の解明
小松 哲郎	群馬大学 生体調節研究所 代謝エピジェネティクス分野 講師	乳酸がエネルギー代謝状態を脂肪細胞エピゲノム に書き込む分子機序の解明
佐藤 浩平	関西学院大学 理学部化学科佐藤研究室 准教授	超音波セラノスティクスの実現に向けた人工脂質 分子の開発
佐藤 伸一	東北大学 学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部 佐藤研究室 助教	タンパク質凝集構造の網羅解析を可能にするケミ カルプロテオミクス
清水 隆之	奈良女子大学 研究院自然科学系 生物科学領域 清水研究室 准教授	超硫黄分子を考慮したレドックス制御から生理機 能を理解する
高田 啓	京都産業大学 生命科学部 タンパク質バイオジェネシス研究室 研究員	マクロライド耐性付与因子の作用機序の解明
高橋 悠太	熊本大学 国際先端医学研究機構 特定研究員	エピジェネティックな情報を介した生活習慣病発 症感受性の世代間伝搬機構の解明
竹立 新人	福岡大学 理学部化学科 機能生物化学研究室 助教	生細胞で局所的に生じるDNA修復反応の解析
千葉 杏子	東北大学 学際科学フロンティア研究所 丹羽グループ 助教	単量体型キネシンにおける 2 量体化の一般性と意 義
中村乃理子	東京大学 大学院工学系研究科総合研究機構 太田研究室 助教	新たな分類に基づく、脳腸相関に寄与する細菌由 来細胞外小胞の解析
野中 洋	京都大学 工学研究科 合成・生物化学専攻 生物有機化学講座 浜地研究室 特定准教授	生きた動物脳内の分泌性プロテアーゼ活性を検出 可能な手法の開発
服部 満	大阪大学 産業科学研究所 生体分子機能科学研究分野 永井研究室 助教	生物発光での広視野追跡による細胞間コミュニ ケーションの機序解析

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
平井 隼人	東京大学 総合文化研究科 太田研究室 特任研究員	栄養飢餓により促進されるヘテロクロマチン形成を介したリボソーム遺伝子の転写抑制機構の解明
平川有宇樹	学習院大学 理学部生命科学科 植物生理学研究室 助教	陸上植物の分裂組織における幹細胞動態制御機構の研究
福富又三郎	北海道大学 大学院理学研究院 行動神経生物学講座 小川研究室 助教	感覚情報処理における刺激の複数情報を同時に暗号化するしくみ
古川亜矢子	京都大学 大学院農学研究科 応用生命科学専攻 生体高分子化学分野 准教授	リンカーヒストンH1によるクロマチン凝集制御機構の解明
星名 直祐	早稲田大学 高等研究所 星名研究室 講師	高次脳機能を司る大脳皮質ネットワークの遺伝学的解剖
前田 義昌	筑波大学 生命環境系 光合成代謝制御学研究室 准教授	硝酸同化経路をもたない黄金色藻ヒカリモの窒素源利用戦略の解明
宮内 栄治	群馬大学 生体調節研究所 粘膜エコシステム制御分野 准教授	母体炎症が引き起こす次世代の1型糖尿病感受性増加のメカニズム解析
村山 泰斗	国立遺伝学研究所 遺伝メカニズム研究系・染色体生化学研究室 准教授	生化学的再構成で迫る高次染色体構造の形成機構と分子的基盤
両角 佑一	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域微生物インタラクション研究室 助教	高温環境下における細胞増殖抑制メカニズムの解明
山口 新平	東邦大学 理学部生物学科 講師	ゲノムインプリンティングが行動に及ぼす影響の解明
山崎 朋人	高知大学 教育研究部自然科学系理工学部門 准教授	microRNAによる葉緑体母性遺伝の制御を捉える
山田真太郎	京都大学 大学院生命科学研究科高次生命科学専攻 ゲノム生物学講座・ゲノム損傷応答学 特任講師	女性ホルモンとゲノム修復遺伝子異常に着目した早期乳癌の解析
山田 千早	明治大学 農学部農芸化学科発酵食品学 専任講師	離乳期に主要な酪酸生成腸内細菌におけるヒトミルクオリゴ糖分解酵素の分子メカニズムとヒト健康への寄与
LU YONGGANG	大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 創造的破壊生物学講座 特任准教授	DNAイベントレコーディングによる精子形成メカニズムの解明
六本木麗子	群馬大学 未来先端研究機構 海外ラボラトリー 助教	特異的ユビキチン化による新しい記憶制御機序の解明：新規認知症治療薬の開発を目指して
渡邊 康紀	山形大学 理学部理学科 生物学分野 准教授	オートファゴソーム内膜特異的分解機構の解明

計42件

ライフサイエンス研究継続助成

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
有村奈利子	東北大学 大学院薬学研究科 薬理学分野 准教授	同種の細胞同士の接着を忌避する「自己交差忌避」の分子機構の解明
太田 茜	甲南大学 理工学部生物学科生体調節学研究室 特任研究講師	1細胞内の複数種の温度受容体による温度耐性制御の分子生理機構
川崎 俊輔	京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 細胞制御システム工学 分野 特定研究員	次世代RNA医薬を指向した生体分子応答性mRNAの創出
中川 直樹	国立遺伝学研究所 神経回路構築研究室 助教	大脳皮質神経細胞の樹状突起精緻化を駆動する細胞内メカニズム
平池 勇雄	東京大学 保健・健康推進本部 助教	「エネルギー消費の促進」に基づく生活習慣病の精密医療を目指したゲノム-エピゲノム連関と遺伝子環境相互作用の研究

計5件

特定研究助成

機 関 名	代 表 者	部 科・職 位	研 究 題 目
愛媛大学	山下 政克	医学系研究科 免疫学講座 教授	免疫記憶のエピジェネティック制御機構の解明と免疫療法への応用
九州大学	大川 恭行	生体防御医学研究所・トランスクリプトミクス分野 教授	空間オミクスによるフレイル発症機序の解明と治療戦略の包括的構築
京都大学	伊佐 正	大学院医学研究科・高次脳科学講座・神経生物学分野 教授	精神疾患関連遺伝子ノックアウト霊長類モデルを用いた精神疾患病態発現機構の解明と治療戦略の開発
熊本大学	山縣 和也	大学院生命科学研究部 病態生化学講座 教授	膵β細胞老化変容に着目した糖尿病発症機構の解明と治療戦略の基盤開発
順天堂大学	小松 雅明	大学院医学研究科 器官・細胞生理 主任教授	オートファジーと相分離の共創による生体防御：分子基盤から病態まで
千葉大学	中村 浩之	大学院薬学研究院 薬効薬理研究室 教授	ニーマン・ピック病 C 型の病態解明と天然有機化合物を活用した革新的治療薬の創製
東京薬科大学	丸山 剛	生命科学部生命医科学科 細胞防御医学研究室 教授	疾患リスクを高める正常細胞亜集団「準老化細胞」の特性理解と疾患予防
東邦大学	中野 裕康	医学部生化学講座 生化学分野 教授	Interleukin-11産生がん関連線維芽細胞(11CAFs)の組織内分化機構の解明と11CAFsを標的とした新規治療法の開発
東北大学	千葉奈津子	加齢医学研究所 腫瘍生物学分野 教授	中心体のDNA損傷応答と分裂期キナーゼの新たな機能を標的とした革新的がん治療法の開発
徳島大学	大東いずみ	先端酵素学研究所 免疫系発生学分野 教授	自己免疫疾患の成因解明研究
新潟大学	小野寺 理	脳研究所 脳神経内科 教授	進化で獲得した細胞特性に着目したALS病態の解明と治療方法の開発
浜松医科大学	山末 英典	精神医学講座 教授	光技術の統合による自閉スペクトラム症の分子病態仮説の収束と革新的治療法の創出

計12件

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
浅川 和秀	国立遺伝学研究所 遺伝形質研究系 特命准教授	ALSリスク因子としてのエクササイズの細胞・分子基盤の追求
伊川 友活	東京理科大学 生命医科学研究所 教授	造血前駆細胞の高い自己複製能を生かした新規CAR-NK療法の開発
上田 和孝	東京大学 医学部附属病院 循環器内科 助教	器官周囲脂肪組織における細胞挙動の空間解析技術の構築に基づく疾患メカニズム解明
植畑 拓也	京都大学 医学研究科 分子生体統御学講座 医化学分野 准教授	mRNA分解酵素Regnase-1の新規ユビキチン化機構を介したT細胞活性化制御メカニズムの解明
上村 紀仁	京都大学 大学院医学研究科 多系統萎縮症治療学講座 特定講師	疾患特異的αシヌクレイン線維増幅法の開発
碓井 喜明	理化学研究所 生命医科学研究センター 基盤技術開発研究チーム 基礎科学特別研究員	遺伝/環境要因を考慮した病態解明及び疾患リスクの解明
遠藤 史人	名古屋大学 環境医学研究所 病態神経科学分野 特任講師	アストロサイトの形態複雑性に着目したアルツハイマー病の治療法の開発
岡江 寛明	熊本大学 発生医学研究所 胎盤発生分野 教授	拍動する心臓を有する革新的ヒト胚モデルの創出

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
荻 朋男	名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野 教授	マルチオミクス解析を活用した希少疾患の個別化医療に向けた基盤構築
堅田 明子	九州大学 大学院 医学研究院 講師	脈絡叢における神経伝達物質セロトニン受容の役割解明
川又 理樹	九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野 助教	機能拡張ゲノム編集技術による全身性遺伝性疾患治療法の開発
河本 新平	大阪大学 微生物病研究所 遺伝子生物学分野 准教授	常在細菌叢依存的に加齢変容する組織の探索とそのメカニズムの解明
金 恭平	岡山大学 医歯薬学総合研究科 脳神経外科 客員研究員	光遺伝学と生体内カルシウムイメージングを用いたParkinson 病非運動症状に有効な新たな脳深部刺激療法の開発
昆 俊亮	東京理科大学 生命医科学研究所 准教授	がん細胞のリンパ行性転移機序の解明と抑止法の開発
佐藤 健	群馬大学 生体調節研究所 細胞構造分野 教授	動物の受精における多精子受精拒否の分子メカニズム
佐藤 有紀	九州大学 大学院医学研究院 准教授	核変形は内皮-造血転換を駆動するリプログラミング因子か？
塩田 倫史	熊本大学 発生医学研究所 ゲノム神経学分野 教授	自閉症スペクトラム障害の病態解明と治療薬の開発
篠崎 陽一	東京都医学総合研究所 視覚病態プロジェクト 副参事研究員	グリア細胞老化による緑内障発症機構解明
篠原 彰	大阪大学 蛋白質研究所 教授	ゲノム不安定化による卵子の機能不全や老化とアルコール代謝との関連
柴田 健輔	山口大学 ゲノム・機能分子解析学分野 講師	視覚をつかさどる視神経の保護に関わる免疫制御メカニズムの解明と治療応用
菅波 孝祥	名古屋大学 環境医学研究所 教授	“代謝的に健康な肥満”を誘導する栄養・食事療法の分子基盤の解明と医学応用
相馬 洋平	和歌山県立医科大学 薬学部薬品化学研究室 教授	アミロイドとの過渡的相互作用を検出できる化学反応システムの開発
田所 優子	金沢大学 がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野 助教	造血の加齢変容の解明とその制御
坪山幸太郎	東京大学 生産技術研究所 物質・環境系 生体分子設計工学分野 講師 (研究室主宰者)	AIを活用した機能性人工タンパク質の合理設計法の確立
富樫 庸介	岡山大学 学術研究院医歯薬学域 (医学系) 腫瘍微小環境学分野 教授	ミトコンドリア異常に基づく慢性炎症と発がんの関係解明
仲嶋 一範	慶應義塾大学 医学部 解剖学教室仲嶋研究室 教授	脳の発生過程における免疫関連分子の機能
中西 未央	千葉大学 大学院医学研究院 講師	ヒト造血発生器官を試験管内構築する造血オルガノイド技術の創出
野本 真順	富山大学 学術研究部医学系 准教授	二情報入出力評価系による 睡眠中の脳の情報処理メカニズムの解明
馬場 義裕	九州大学 生体防御医学研究所 教授	自己反応性病原性B細胞の実態と分化機序の解明
早野 元詞	慶應義塾大学 医学部 整形外科教室 特任講師	エピゲノムによる老化制御モデルと、[C]gRNA CRISPRを用いた老化制御因子の単離
廣田 圭司	京都大学 医生物学研究所 統合生体プロセス分野 准教授	炎症性疾患の病態制御に関わるIL-23aの新規機能と制御機構の解明
彭 戈	順天堂大学 大学院医学研究科・アトピー疾患研究センター 日本学術振興会特別研究員	アトピー性皮膚炎における脳内炎症の解析と治療戦略の模索

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
水野 忠快	東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 助教	免疫細胞ソーシャルネットワーク構築に向けた概念実証研究
光井 雄一	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 生体環境応答学講座・免疫学分野 助教	遺伝子多型に基づく免疫系による肥満病態形成機序の解明
六車 恵子	関西医科大学 医学部 iPS・幹細胞応用医学講座 教授	両側性脳オルガノイドによる非対称脳の再現
森嶋 達也	熊本大学 国際先端医学研究機構 幹細胞ストレス研究室 特任講師	エピトランスクリプトームによる造血制御機構の解明
森田 直樹	東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野 助教	乳児期腸内細菌叢が制御する個体成熟後における疾患感受性制御機構の解明
八尾 尚幸	九州大学 医学研究院 助教	治療関連白血球の発症メカニズムの解明と発症予防法の開発
山口 憲孝	千葉大学 大学院薬学研究院 分子心血管薬理学 准教授	新規褐色細胞誘導法の開発と代謝性疾患治療・予防への展開
吉田 昌弘	東京慈恵会医科大学 内科学講座呼吸器内科 助教	TFEB発現誘導を介したSenotherapyによる慢性呼吸器疾患の新規治療薬の開発

計40件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
五十嵐正樹	東京大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 講師	栄養シグナルと代謝物に着目した幹細胞ニッチ機能制御機構の解明
大澤 毅	東京大学 先端科学技術研究センター 准教授	飽食時代の新規栄養感知機構を標的としたがん治療法の開発
川根 公樹	京都産業大学 生命科学部 准教授	上皮、内皮のバリア破綻による疾患を社会的細胞死の視点から理解する
佐々木 亮	京都大学 医学研究科 助教	柔軟な意思決定を導く霊長類大規模脳回路ネットワークの光遺伝学的調節
佐田亜衣子	九州大学 生体防御医学研究所 皮膚科学老化学分野 教授	表皮幹細胞ダイナミクスから紐解く皮膚再生と老化
島津 忠広	理化学研究所 眞貝細胞記憶研究室 専任研究員	タンパク質ヒスチジン残基におこるメチル化修飾の生命機能の解明
関谷 元博	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科 准教授	代謝産物センサー分子の同定によってもたらされた新しい考え方と医療応用
高山 賢一	東京都健康長寿医療センター 研究所 老化機構研究チームシステム加齢医学 専門副部長	RNA結合核酸制御因子を標的としたホルモン療法抵抗性がんに対する新規治療法の開発
玉置 應子	理化学研究所 脳神経科学研究センター 理研白眉研究チームリーダー	睡眠中の脳活動から、閃きの神経基盤を解明しその応用を探索する
福井 一	徳島大学 先端酵素学研究所 生体力学シグナル分野 独立准教授	血行力学作用がもたらす熱発生-温度感知による心臓弁形成機構の解明
松井 秀彰	新潟大学 脳研究所 教授	二大神経変性疾患の全く新しい病態仮説
松下 博和	愛知県がんセンター 研究所 腫瘍免疫制御TR分野 分野長	肺癌に対する術後再発予防がんワクチン開発に向けたT細胞受容体-抗原ペア同定システムの改良
宮成 悠介	金沢大学 ナノ生命科学研究所 准教授	モジュール式小型抗体を用いたクロマチン解析技術の開発
宮脇 慎吾	岐阜大学 応用生物科学部・共同獣医学科・獣医外 科学研究室 准教授	ゲノム編集マウスによる動物種を超えたフェノタイプの再現-犬種の形態的・病的特徴の再現-

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
茂木 文夫	北海道大学 遺伝子病制御研究所・発生生理学分野 教授	卵母細胞の形成と品質管理を司る「力学刺激-化学反応」連携の解明

計15件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
橋本 均	大阪大学 大学院薬学研究科神経薬理学分野 教授	中枢創薬を加速する全脳細胞研究
星野 温	京都府立医科大学 循環器内科 講師	疾患抵抗性遺伝子変異ゲノム編集による神経変性疾患克服
保仙 直毅	大阪大学 大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授	固形がんに対するCAR T/NK細胞の開発
谷内田真一	大阪大学 大学院医学系研究科 ゲノム生物学講座・がんゲノム情報学 教授	"Microbiome-based Precision Medicine"を見据えた腸内細菌叢の変動に基づく大腸癌発症機構の解明と予防法の創出
柳井 秀元	東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授	異常自己分子による免疫応答の発動・調節機構の解明と疾患病態との関わり解明

計5件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
久保田義顕	慶應義塾大学 医学部 解剖学教室 教授	血管ネットワーク多様性の獲得原理
豊島 文子	京都大学 医生物学研究所 生体システム研究部門 組織恒常性システム分野 教授	妊娠における幹細胞の増殖・分化応答機構

計2件

中学校・高等学校理科教育振興助成

<中学校>

氏 名	所属機関・職位	研究 題 目
内山智枝子	筑波大学附属駒場中学校 教諭	探究心を育むための理科実験室リフォーム ～中学校理科における科学的な探究活動の実践～
小方 友貴	栗島浦村立栗島浦中学校 教諭	ワカメの養殖の体験学習を取り入れた生物分野カリキュラム開発と実践
影山 貴大	津山市立北陵中学校 教諭	理科と総合的な学習の時間を往還した課題研究のカリキュラム開発とその評価 ～NOSを導入した力学における探究学習の実践研究～
風盛 文哉	尾道市立日比崎中学校 教諭	中学校理科天体分野における、モデル実験教材の開発とモデル実験にICT 機器を融合させた授業実践
鎌田 隆史	宮城学院中学校高等学校 教諭	丸田沢緑地環境保全地域(学内外)・泉ヶ岳山麓の耕作放棄地を利用した環境教育の推進～身近な自然観察から自然環境の変化とこれからの環境を考える～
川島 健治	法政大学中学高等学校 教諭	「主体的・対話的で深い学び」を目指した電気回路の授業
阪田 忠	大和郡山市立郡山西中学校 教諭	生徒が行う星空観察ガイドツアープログラムの作成と実践
塩飽 修身	岡山県立岡山操山中学校 教諭	放課後の寄り道の場所としての理科室の仕掛け

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
豊田 将章	大谷中学校・高等学校 教諭	「安定動作する波動実験器」などの画期的に実用的な物理実験装置の製作
中川 一光	星槎名古屋中学校 教諭	授業のなかで、生徒が自分の居場所をみつけ意欲的に学習に取り組むことができる理科の授業のあり方
西垣 千江	横浜市立上永谷中学校 教諭	生徒が入り込んで実感体験できる等身大実験教材の開発(光の反射・屈折)～鏡の中のアリス・水底のアリス ホントだ! から なぜ? へ～
西島 健	滝川第二中学校 中学副主任	採取、採卵、受精から変態に至るまでの一貫したウニの発生観察
林 秀輝	筑波大学附属桐が丘特別支援学校 教諭	インクルーシブ教育の実現に向けた肢体不自由の起因疾患に基づく障害特性による困難のある生徒に対する手立て・配慮を踏まえた、主体的、対話的で深い学びを実現するための理科教材及び指導法の開発
藤澤 隆次	千葉県立千葉中学校 教諭	「複合知」で問題発見・解決する能力を備えた人材の育成～生成AIを活用したSTEAM教育プログラムの開発と実践を通して～
藤田真太郎	静岡県浜松市立舞阪中学校 教諭	理科授業において、マイコンとセンサーを用いたプログラミングで実験・観察を継続的に行うSTEAM教育的試み
松村 浩一	防府市立華陽中学校 教諭	理科好きな女子を育てる部活動 ～サイエンスな才媛s～
南 大都	鹿児島修学館中学校・高等学校 教諭	定量実験の充実を通じた科学的に探究するために必要な資質・能力の育成 ～スマートカートを活用した加速度の概念形成とデータ分析力の向上～
吉村 一馬	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校 教諭	学習する単元の先駆者の業績を先行学習させ価値を実感させる取り組み～中学校理科4領域4単元等で得た知見を「第7単元 自然と人間」に活用させて～
若林 教裕	三豊市立高瀬中学校 教頭	探究の過程を踏まえ、状態変化が深く実感できる指導展開と実験の工夫

計19件

<高等学校>

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
朝倉 彬	お茶の水女子大学附属高等学校 教諭	高校では扱わない「流体力学」を高校物理で導入する手法の開発と実践
浅野 理紗	茨城県立石岡第一高等学校 教諭	見えない大気を可視化する一生徒が大気の特徴を見いだす学習プログラムの開発ー
井口 藍	埼玉県立川口北高等学校 教諭	ハイドロフォンを用いた海洋生物の種間相互作用の測定
池田 忠之	宮城県柴田高等学校 教諭	化学事故防止に向けた化学知識の確実な習得を目指した学習プログラムの開発 -化学の学習に苦手意識をもつ生徒の実験とフィードバックによる確かな学び-
石川真理代	東京都立豊島高等学校 主任教諭	高等学校物理領域における自走型立体模型の工作を通じた探究活動の実践
石本 由夏	新潟県立村上中等教育学校 教諭	村上の特産品(村上茶と鮭)を題材とした研究の継続とさらなる深化
祝 弘樹	山村国際高等学校 教諭/教科主任(理科)/顧問(生物部)	酪酸キナーゼを有する嫌気性細菌の探索

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
植田 好人	兵庫県立明石北高等学校 教諭	クビアカツヤカミキリの遺伝的解析および地元地域での中高連携事業
上野 智	大阪明星学園明星高等学校 教諭	身近な環境微生物から発酵を行う種の発見と培養方法の解明
宇田川麻由	筑波大学附属駒場高等学校 教諭	環境DNAを活用した生物部による駒場の生物多様性調査
梅田 智子	新潟県立新潟高等学校 教諭	飛び砂の含水量と防砂ネットの効果の関係～効果的な防砂ネットの設置方法を探る～
戎井 一史	兵庫県立明石南高等学校 教諭	電気化学および分析化学を総合的に用いた高等学校における化学教育
大羽 徹	名古屋大学教育学部附属中・高等学校 教諭	DSCOVR衛星の公開画像の解析：DSCOVR衛星の位置特定と地球の軌道面に対する月の軌道傾斜角の算出
岡田 健司	兵庫県立伊川谷北高等学校 教諭	高等学校「生物」におけるゲノム編集トマトを用いた実験教材の作成～トマト果実のGABA含有量の比較～
岡村 典夫	茨城県立土浦第三高等学校 教諭	惑星状星雲のスペクトル～スペクトル分析と大きさから惑星状星雲の相対的な形成年代を推定する～
岡本 宇隼	京都府立烏羽高等学校 教諭	粒子モデルの有用性を意識できる高等学校化学授業の開発および実践
沖田 一郎	静岡県立浜松大平台高等学校 教諭	分子系統解析を用いてアリの新種を発見する
奥野 晃久	さいたま市立大宮北高校 教諭	水をテーマとした国際交流―水質改善と軟水化の実験を通して―
尾崎 巧	新潟県立新津高等学校 教諭	人工ミネラルウォーターの作成と分析を通じて化学的な資質・能力を育成するための教材作成並びに授業プログラムの考案
加賀 理夫	島根県立松江南高等学校 講師	宍道湖・Air電池～湖水と空気から電圧を得る一工夫～
勝矢 晃太	暁高等学校 教諭	湿地帯ビोटープで再現する日本の里山の原風景
門澤 智広	宮城県本吉響高等学校 教諭	サーモグラフィー画像を利用した生物と環境条件の関係に関する研究～温度を“見える化”して環境問題について考える～
門脇 秀文	大分県立杵築高等学校 教諭	模型飛行機の飛行原理を題材に高校物理の学習内容を活かす教材の開発
川井 亮祐	愛媛県立松山南高等学校 教諭	天体観測装置の授業教材化 -電子観望装置と分光観測装置を応用した授業や課題研究活動での活用を目指して-
河野裕一郎	鹿児島県立国分高等学校 教諭	硫化水素濃度の簡易測定法の開発～全国の中学校の硫化水素による実験事故を未然に防ぐ～
川端 俊一	沖縄県立球陽高等学校 教諭	沖縄に生息するアリ2種(トゲオオハリアリとクロトゲアリ)の生態調査
木内 葉子	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 教諭	探究のサイクルで主体的な思考を促す、大腸菌の形質転換実験
北岡 和樹	高知県立高知国際高等学校 教諭	原子力発電所のない地域における放射線教育プログラムの開発と実践
木村 直広	大阪府立豊中高等学校 教諭	滴定曲線を利用した新たな探究型実験の研究と開発

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
齋藤桂似郎	長野県野沢南高等学校 教諭	3Dプリンターによる探究活動のための機材開発
坂尾 俊介	鳥取県立鳥取西高等学校 教諭	テンセグリティ構造を用いた力学教材の開発
阪本 和則	京都府立南陽高等学校・附属中学校 教諭	京都府南部地域で発生する積乱雲『田辺五郎』の発生予報
庄司 直央	北海道浦河高等学校 教諭	ウニの養殖を通じたSDGsおよび地域学習の展開
田中 春菜	東京都立大田桜台高等学校 主任教諭	身近な食物から色素を取り出す簡易抽出法の開発 —生徒の興味関心を高める実験、課題研究実験Ⅱ—
田中 福人	ノートルダム清心学園清心女子高等学校 教諭	伝統農法「稲踏み」における生育効果の科学的検証
田村 統	兵庫県立龍野高等学校 教諭	オートクレーブ・クリーンベンチ不要のバイオテクノロジー生徒実験の開発
長倉 健哉	静岡県立伊豆中央高等学校 教諭	生徒端末と小型マイコンで行う、力学分野の探究的なIoT実験の開発と実践
久森 洗希	兵庫県立須磨東高等学校 教諭	持続可能な社会の創り手としての資質・能力を育む探究学習プログラムの開発：「つながり」を見いだすフィールド科学の実践を通して
福満 晋	山脇学園高等学校 理科教諭	環境にやさしく、雑草を減らす ～コーヒー豆かすの除草効果について～
藤田 学	岡山県立倉敷工業高等学校 教諭	学校の特性を生かしたモデルロケットの理科教育教材としての活用方法の開発
堀内 敬士	広島県立西条農業高等学校 教諭	フレキシブルソーラーパネルを用いたIoT農業ハウスの作製と栽培管理の省力化に向けた探究活動の充実
本多 栄喜	熊本県立宇土高等学校 教諭	地域の地質から防災を考える～馬門石（まかどいし）と島原大変肥後迷惑～
松下 将也	兵庫県立社高等学校 教諭	「生物」と「総合的な探究の時間」の往還による看護医療分野の人材育成カリキュラムの作成
水野 晃秀	愛媛県立宇和島水産高等学校 実習助手	海洋生物を中心としたプラスティネーション標本の貸出教材及び学習プログラムの開発
宮内 滉平	愛媛大学附属高等学校 教諭	光電効果における安価な光電流実験装置の開発と授業実践
茂木 孝浩	群馬県立富岡高等学校 教諭	生徒実験用押し引きばねの試作と実験デザインの検討
両角 治徳	千葉県立長狭高等学校 科学部 顧問	部活動における、探究活動の推進による「探究観」の育成。～水溶液が呈色変化する「ヨウ素時計反応」と「ブルーボトル反応」の研究を通して～
矢野 貴義	堺市立堺高等学校（全日制の課程） 主幹教諭	校庭で打ち上げるハイブリッド・ロケット ～STEM教育の実践～
吉田 宏	奈良県立磯城野高等学校 教諭	いきものいっぱい！ならプロジェクト
渡邊 実恵	小松大谷高等学校 教諭	アクアポニックスを利用した木場潟生態系の再現
渡會 兼也	金沢大学附属高等学校 教諭	九谷焼で作る重力ポテンシャル形状と実験教材の開発

計51件

❧ 2024年度 応募件数・採択件数・採択率 ❧

プログラム名	応募件数	採択件数	採択率
武田報彰医学研究助成	27	10	37%
ハイリスク新興感染症研究	60	10	17%
生命科学研究助成	219	30	14%
医学系研究助成(がん領域・基礎)	108	36	33%
医学系研究助成(がん領域・臨床)	87	30	34%
医学系研究助成(精神・神経・脳領域)	119	40	34%
医学系研究助成(感染領域)	70	25	36%
医学系研究助成(基礎)	211	72	34%
医学系研究助成(臨床)	120	40	33%
医学系研究助成(小計)	715	243	34%
医学系研究継続助成(がん領域・基礎)	21	5	24%
医学系研究継続助成(がん領域・臨床)	17	5	29%
医学系研究継続助成(精神・神経・脳領域)	23	6	26%
医学系研究継続助成(感染領域)	12	3	25%
医学系研究継続助成(基礎)	34	9	26%
医学系研究継続助成(臨床)	18	4	22%
医学系研究継続助成(小計)	125	32	26%
薬学系研究助成	128	41	32%
薬学系研究継続助成	24	5	21%
ライフサイエンス研究助成	194	42	22%
ライフサイエンス研究継続助成	21	5	24%
特定研究助成	36	12	33%
ビジョナリーリサーチ助成	400	40	10%
ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)	29	15	52%
ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)	12	5	42%
ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)	6	2	33%
中学校理科教育振興助成	27	19	70%
高等学校理科教育振興助成	74	51	69%
合計	2,097	562	27%

別表 (2)

2024年度来日外国人留学研究者(国/地域別人数)

<2025年3月31日現在>

国 別	2024年度 計画 (人数)	2024年度 承認 (人数)	実 績 (人数)				備 考
			本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	3	5	5			5	
タ イ	6	6	6			6	
フィリピン	6	8	8	1		9	
韓 国	3	0	0	1		1	
中 国	6	6	6			6	
インドネシア	6	7	7			7	
ベトナム	3	3	3			3	
7指定国/地域 小計	33	35	35	2		37	
上記7指定国/ 地域以外	7	7	7			7	
総 計	40	42	42	2		44	

2024年度外国人留学研究者明細

2024/4/1-2025/3/31来日者

氏 名	所 属	研 究 機 関
中 国		
Xuchang Meng 蒙旭昌	The First Affiliated Hospital of Guangxi Medical University	日本医科大学 国際交流センター
Wenjing Duan 段文静	Henan Provincial People's Hospital	慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所がん免疫研究部門
Jingjing Wei 魏晶晶	The First Affiliated Hospital of Fujian Medical University	鳥取大学医学部 消化器腎臓内科学
Hui Cao 曹慧	Hunan Province Brain Hospital (Hunan Province Second People's Hospital)	立命館大学 大学院人間科学研究科
Qiao Jin 金	The Third Xiangya Hospital of Central South University	順天堂大学大学院医学研究科 放射線治療学講座
Minghui Lin 林明慧	The Fourth People's Hospital of Ningxia Hui Autonomous Region	がん研究会 有明病院 乳腺内科
小 計	6名	
台 湾		
Ruei-Yi Tai 戴瑞億	Taipei Medical University Hospital	鳥取大学医学部 脳神経医科学講座脳神経内科学分野
Tzu-Chuan Hsu 徐子權	Taipei Medical University Hospital	相模原病院 臨床研究センターアレルギー性疾患研究部
Yu-Wen Cheng 鄭宇文	Kaohsiung Veterans General Hospital	東京慈恵会医科大学 脳神経外科
Ping-Hsun Wu 秉勳	Kaohsiung Medical University Hospital	東北大学大学院医工学研究科 医工学専攻 生体再生医工学講座(分子病態医工学分野)
Yen-Ju Chen 陳妍如	National Cheng Kung University Hospital	神奈川県立こども医療センター 新生児科
小 計	5名	
韓 国		
Hye Hyun Yoo 2023年度	Hanyang University	琉球大学病院 薬剤部
小 計	1名	
ベトナム		
Vinh Quang Pham	Binh Dan Hospital	東京女子医科大学 肝胆膵外科
Tan Thi Tran	Bach Mai Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学
Van Dinh Tran	Viet Duc University Hospital	長崎医療センター てんかんセンター
小 計	3名	
フィリピン		
Kevin Jer Ven David	Philippine General Hospital	東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Harjoland Lim Obenieta	Davao Doctors Hospital, Inc.	慶應義塾大学 整形外科科学教室脊椎・脊髄班
Josiah Paolo Montales Mutia	Bicol Medical Center	浜松医科大学 整形外科
Juan Carlos Reyes Abon	Philippine General Hospital	国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科
Marianne Linley Loo Sy-Janairo	St. Luke's Medical Center	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座消化器内科学分野
Lariza Marie Luna Canseco	De Los Santos Medical Center	順天堂大学医学部 消化器画像診断・治療学
Ma. Angelica Noguera Franco	St. Luke's Medical Center	NTT東日本関東病院 消化器内科
Katherine Marie de Asis Gonzalez	Mt. Carmel Medical Center of Bulacan, Inc	一宮西病院 整形外科 脊椎外科
Joseph Gabriel Asuncion Abello 2023年度	Philippine Orthopedic Center	順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション科
小 計	9名	

氏 名	所 属	研 究 機 関
タイ		
Uakarn Petchpanya	Central Chest Institute of Thailand	川崎幸病院
Gahn Doungprasert	Thammasat University Hospital	札幌鎮心会病院
Karuna Sutthibenjakul	Prince of Songkhla University	東京女子医科大学 麻酔科
Wadwilai Chalapati	Nong Khai Hospital	国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科
Suwadee Jirasakpisarn	Pranangklaao Hospital	国立国際医療研究センター 国際感染症センター AMR臨床リファレンスセンター
Tanet Chatmongkonwat	Chiangrai Prachanukroh Hospital	国立がん研究センター中央病院 胃外科
小 計	6名	

インドネシア

Defi Kartika Sari	Institute of Tropical Disease, Universitas Airlangga	東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻生物医化学分野
Radiana Dhewayani Antariato	Universitas Indonesia	大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野
Galih Indra Permana	Dr. Moewardi General Hospital	東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科
Dyah Wulan Anggrahini	Universitas Gadjah Meda	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野
Ali Haedar	Universitas Brawijaya	国士舘大学 防災・救急救助総合研究所
Belinda Julivia Murtani	Universitas Indonesia	京都大学大学院医学研究科 精神医学
Ery Kus Dwianingsih	Universitas Gadjah Mada	北海道大学大学院医学研究院 病理学講座腫瘍病理学教室
小 計	7名	

そ の 他

Treshita Dey インド	Post Graduate Institute of Medical Education and Research	国立がん研究センター東病院 放射線治療科
Elijah Mwangangi Yulu ケニア	AIC Kijabe Hospital	NTT東日本関東病院
Hafiz Muhammad Asif パキスタン	The Islamia University	富山大学附属病院 第一内科
Samina Aslam パキスタン	The Women University	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻薬品構造解析学研究室
Sirin Siyahjani Gultekin トルコ	Ege University	熊本大学生命科学研究部 サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
Iryna O Rodionova ウクライナ	Taras Shevchenko National University of Kyiv	順天堂大学大学院医学研究科 ゲノム・再生医療センター
Olga Zuieva ウクライナ	LLC Trading House Biolabtech	順天堂大学大学院医学研究科 産学協同研究講座
小 計	7名	
合 計	44名	

国別外国人留学研究者数累計

2025/3/31現在
(来日ベース)

国 別	期 間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台 湾		22	52	115	61	325	3	578	1964
タ イ			9	14	131	94		248	1966
フィリピン			6	16	123	45	1	191	1971
韓 国			4	113	19	4	2	142	1972
中 国			36	128	134			298	1981
インドネシア			11	25	65	91	3	195	1982
ベトナム				3	30	55	1	89	1998
アフガニスタン				1				1	
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1	1				2	
イタリー			1	3	1			5	
イラン				1				1	
インド			3	24	10	3		40	
ウクライナ			1	1				2	
ウズベキスタン				5				5	
エジプト				13	4	1	1	19	
オーストラリア				2				2	
ガーナ				1	1			2	
カザフスタン				1				1	
カナダ				2	1			3	
カメルーン				1				1	
ケニア				1	1	1		3	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スウェーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア				1				1	
ドイツ			4	4	3			11	
トルコ				3	5		1	9	
ナイジェリア				2	2			4	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				4	2			6	
パキスタン				5	1			6	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				9	8	3		20	
ブラジル				2		1		3	
フランス			2	5	3	1		11	
ベネズエラ				1				1	
ベラルーシ				1				1	
ペル ー			1	1	2			4	
ベルギー					1			1	
マレーシア			1	2	1	1		5	
ミャンマー			1	1	3	3		8	
メキシコ			1					1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア			1	1			1	3	
合計		22	138	520	618	629	13	1,940	

医学部博士課程奨学助成者

2024年度 新規奨学助成者

氏 名	博士課程進学後の所属講座・教室
吾妻 佑希人	東北大学大学院医学系研究科 医療AI人材養成コース
松本 萌夢	東北大学大学院医学系研究科 法医学分野
片山 優子	北海道大学大学院医学院 統合病理学教室
寺島 祐樹	北海道大学大学院医学院 腫瘍病理学教室
津田 祐希	九州大学大学院医学系学府 衛生・公衆衛生学
増永 真理	九州大学大学院医学系学府 系統解剖学分野
今村 啓明	京都大学大学院医学研究科 機能微細形態学
梶谷 健	京都大学大学院医学研究科 システム神経薬理分野
橘田 真理	大阪大学微生物病研究所 遺伝子生物学分野
谷村 昌哉	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子機能解析分野
大庭 彰展	名古屋大学大学院医学系研究科 細胞生理学講座
山本 幹泰	名古屋大学大学院医学系研究科 分子神経科学
岡本 侑也	東京大学大学院医学系研究科 病因・病理学専攻
桃井 悠作	東京大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学分野
岡野 雄士	慶應義塾大学医学部 石井・石橋記念講座（拡張知能医学）
田代 共生	慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所脳科学研究部門

2024年度 海外研究留学生

氏名	所属機関	海外研究機関・受入責任者名
安東 泰希	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	University of Cologne, Germany Prof. Dr. Hamid Kashkar
岩崎 惇	京都大学医学部附属病院 血液内科	Massachusetts General Hospital Cancer Center, USA Assistant Professor Salvia Jain
内田 秀昭	帝京大学 皮膚科学講座	University of California, Davis, USA Prof. Samuel T Hwang
大西 卓磨	慶應義塾大学医学部 小児科学教室	National Institute of Environmental Health Sciences (NIEHS), National Institutes of Health (NIH), USA Head, Lisa G. Rider
大庭 聖也	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	Harvard Medical School, Beth Israel Deaconess Medical Center, USA Professor George C. Tsokos
大林 祐樹	京都大学大学院医学研究科 循環器内科学	Leiden University Medical Center (LUMC), the Netherlands Prof. Jeroen J. Bax
河谷 昌泰	名古屋大学大学院医学系研究科	Washington University in St. Louis, USA Assistant Professor Vijay Samineni
出村 宗大	金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科	Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Departments of Neurology and Radiology, USA Associate Professor Ken Arai
眞井 洋輔	北海道大学病院 皮膚科	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery at Harvard Medical School, USA Assistant Professor Karl R. Koehler
森 圭史	国立精神・神経医療研究センター	Spinoza Centre for Neuroimaging, the Netherlands Dorector, Serge Dumoulin

The 22nd Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience

Excellent Poster Awardee

	Family Name	First Name	Institution	Abstract Title
Ms.	Xue	Xinxin	Kyoto University	Inhibition of COVID-19 vaccine response by the presence of low-affinity cross-reactive T cells
Dr.	Masuo	Yuki	Kyoto University	Dynamic functional and spatial transition of peripheral helper T cells in rheumatoid arthritis
Ms.	Hatanaka	Sari	Kyoto University	High-dimensional activation-induced marker assay elucidates the link between allergen-specific Th/Tfh cell response, basophil reactivity and clinical status of childhood egg allergy.
Ms.	Kishi	Mizuki	Osaka University	Inborn errors of immunity with a missense mutation of COMMD8
Dr.	Opasawatchai	Anunya	RIKEN Center for Integrative Medical Sciences/ Mahidol University	Linking B cell receptor diversity with isotypes and gene expression across multiple viral infections
Dr.	Maeda	Yuka	National Cancer Center Research Institute	A novel concept of regulatory T cell (Treg)-targeted immunotherapy with a control method of autoimmune disorders

貸 借 対 照 表

(2025年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	222,579,658	234,871,311	-12,291,653
前払金	25,200,000	10,300,000	14,900,000
流動資産合計	247,779,658	245,171,311	2,608,347
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	23,923,594	23,923,594	0
投資有価証券	69,887,035,000	66,568,724,000	3,318,311,000
図書資料	3,050,588,438	3,031,972,318	18,616,120
基本財産合計	72,961,547,032	69,624,619,912	3,336,927,120
(2) 特定資産			
助成基金	16,860,057,751	16,476,167,227	383,890,524
杏雨基金	225,245,558	241,069,558	-15,824,000
資産取得資金	244,991,000	278,981,000	-33,990,000
寄附者指定特定基金	4,204,308,569	4,137,414,859	66,893,710
建物	99,840,126	104,545,344	-4,705,218
特定資産合計	21,634,443,004	21,238,177,988	396,265,016
(3) その他固定資産			
建物	51,813,191	59,738,027	-7,924,836
什器備品	78,813,145	71,848,781	6,964,364
ソフトウェア	68,105,535	27,692,610	40,412,925
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	198,781,871	159,329,418	39,452,453
固定資産合計	94,794,771,907	91,022,127,318	3,772,644,589
資産合計	95,042,551,565	91,267,298,629	3,775,252,936
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,930,600	7,244,787	6,685,813
未払費用	1,575,005	1,650,869	-75,864
預り金	2,788,446	2,405,767	382,679
流動負債合計	18,294,051	11,301,423	6,992,628
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	9,223,500	7,659,500	1,564,000
退職給付引当金	7,897,000	9,497,000	-1,600,000
固定負債合計	17,120,500	17,156,500	-36,000
負債合計	35,414,551	28,457,923	6,956,628
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	67,547,584,500	64,042,396,000	3,505,188,500
基本財産受取配当金利息	4,640,706,003	4,560,301,391	80,404,612
指定正味財産合計	72,188,290,503	68,602,697,391	3,585,593,112
(うち基本財産への充当額)	(67,884,525,695)	(64,361,121,075)	(3,523,404,620)
(うち特定資産への充当額)	(4,303,764,808)	(4,241,576,316)	(62,188,492)
2. 一般正味財産	22,818,846,511	22,636,143,315	182,703,196
(うち基本財産への充当額)	(5,077,021,337)	(5,263,498,837)	(-186,477,500)
(うち特定資産への充当額)	(17,330,678,196)	(16,996,601,672)	(334,076,524)
正味財産合計	95,007,137,014	91,238,840,706	3,768,296,308
負債及び正味財産合計	95,042,551,565	91,267,298,629	3,775,252,936

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,887,214,646	2,787,268,921	99,945,725
基本財産受取配当金	2,858,443,388	2,761,587,326	96,856,062
基本財産受取利息	28,771,258	25,681,595	3,089,663
特定資産運用益	548,719,840	526,093,703	22,626,137
特定資産受取配当金	500,228,352	479,385,504	20,842,848
特定資産受取利息	48,491,488	46,708,199	1,783,289
受取寄付金	0	70,000	-70,000
受取寄付金	0	70,000	-70,000
雑収益	21,738,219	16,580,016	5,158,203
受取利息	359,471	5,600	353,871
返還助成金	21,378,748	16,574,416	4,804,332
経常収益計	3,457,672,705	3,330,012,640	127,660,065
(2) 経常費用			
事業費	3,399,301,936	3,208,982,027	190,319,909
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000	100,000,000	0
生命科学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
医学系研究助成金	582,000,000	568,200,000	13,800,000
薬学系研究助成金	97,000,000	100,000,000	-3,000,000
ライフサイエンス研究助成金	99,000,000	101,000,000	-2,000,000
特定研究助成金	550,000,000	500,000,000	50,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	265,000,000	192,000,000	73,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000	21,000,000	0
外国人留学助成金	97,314,122	126,442,056	-29,127,934
医学部博士課程奨学助成	188,200,000	199,000,000	-10,800,000
海外研究留学助成	161,895,000	167,020,000	-5,125,000
武田医学賞褒賞金	60,000,000	40,000,000	20,000,000
シンポジウムポスター褒賞金	3,000,000	2,500,000	500,000
助成金等費用	37,686,784	37,676,784	10,000
役員報酬	11,677,400	11,194,960	482,440
給料手当	47,605,924	37,042,233	10,563,691
役員退職慰労引当金繰入額	800,327	799,640	687
退職給付費用	785,000	730,000	55,000
福利厚生費	9,808,487	8,367,209	1,441,278
会議費	45,105,988	43,450,299	1,655,689
旅費交通費	93,223,380	79,441,830	13,781,550
通信運搬費	6,137,341	4,945,023	1,192,318
減価償却費	33,043,418	31,506,134	1,537,284
消耗品費	11,018,836	9,474,632	1,544,204
修繕費	33,743,039	32,410,647	1,332,392
印刷製本費	37,738,056	39,493,098	-1,755,042
光熱水料費	3,372,734	2,985,313	387,421
賃借料	52,390,940	52,174,588	216,352
保険料	6,512,139	9,240,877	-2,728,738
諸謝金	13,840,650	11,054,032	2,786,618
委託費	92,011,628	68,970,694	23,040,934
租税公課	10,850	22,000	-11,150
広報費	38,007,709	10,167,165	27,840,544
雑費	372,184	672,813	-300,629

管理費	58,370,769	95,345,613	-36,974,844
役員報酬	15,192,792	13,189,645	2,003,147
給料手当	15,433,561	13,173,593	2,259,968
役員退職慰労引当金繰入額	763,673	764,360	-687
役員退職金	0	200,000	-200,000
退職給付費用	1,275,000	340,000	935,000
福利厚生費	4,704,971	4,235,831	469,140
会議費	2,307,039	2,399,527	-92,488
旅費交通費	2,111,225	2,184,271	-73,046
通信運搬費	531,978	421,600	110,378
減価償却費	349,192	359,377	-10,185
消耗品費	1,742,809	2,221,665	-478,856
修繕費	78,540	74,712	3,828
印刷製本費	314,003	746,102	-432,099
光熱水料費	1,974,379	1,990,211	-15,832
賃借料	4,004,855	3,984,366	20,489
保険料	144,681	142,027	2,654
諸謝金	84,379	0	84,379
会計監査報酬	2,200,000	2,200,000	0
委託費	4,591,227	5,429,324	-838,097
広報費	0	40,700,000	-40,700,000
租税公課	88,400	0	88,400
雑費	478,065	589,002	-110,937
経常費用計	3,457,672,705	3,304,327,640	153,345,065
評価損益等調整前当期経常増減額	0	25,685,000	-25,685,000
基本財産評価損益等	-188,009,607	-88,148,368	-99,861,239
基本財産評価損益等	-188,009,607	-88,148,368	-99,861,239
特定資産評価損益等	370,698,747	-513,897,875	884,596,622
特定資産評価損益等	370,698,747	-513,897,875	884,596,622
評価損益等計	182,689,140	-602,046,243	784,735,383
当期経常増減額	182,689,140	-576,361,243	759,050,383
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	400,000	120,000	280,000
図書資料受贈益	400,000	120,000	280,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	385,944	0	385,944
固定資産除却損	385,944	0	385,944
当期経常外増減額	14,056	120,000	-105,944
当期一般正味財産増減額	182,703,196	-576,241,243	758,944,439
一般正味財産期首残高	22,636,143,315	23,212,384,558	-576,241,243
一般正味財産期末残高	22,818,846,511	22,636,143,315	182,703,196
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,938,848,000	2,816,396,000	122,452,000
基本財産受取配当金	2,938,848,000	2,816,396,000	122,452,000
特定資産運用益	1,650,610	43,768	1,606,842
特定資産受取利息	1,650,610	43,768	1,606,842
基本財産評価損益	3,505,188,500	-2,540,879,000	6,046,067,500
基本財産評価損益	3,505,188,500	-2,540,879,000	6,046,067,500
一般正味財産への振替額	-2,860,093,998	-2,761,631,094	-98,462,904
一般正味財産への振替額	-2,860,093,998	-2,761,631,094	-98,462,904
当期指定正味財産増減額	3,585,593,112	-2,486,070,326	6,071,663,438
指定正味財産期首残高	68,602,697,391	71,088,767,717	-2,486,070,326
指定正味財産期末残高	72,188,290,503	68,602,697,391	3,585,593,112
III 正味財産期末残高	95,007,137,014	91,238,840,706	3,768,296,308

正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	28,771,258	0	0	0	0	0	2,801,894,167	2,830,665,425	56,549,221		2,887,214,646
基本財産受取配当金							2,801,894,167	2,801,894,167	56,549,221		2,858,443,388
基本財産受取利息	28,771,258							28,771,258			28,771,258
特定資産運用益	544,130,385	0	0	0	0	2,935,567	191,811	547,257,763	1,462,077		548,719,840
特定資産受取配当金	500,228,352							500,228,352			500,228,352
特定資産受取利息	43,902,033					2,935,567	191,811	47,029,411	1,462,077		48,491,488
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
国宝重要文化財等保存整備費補助金							0	0	0		0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金							0	0			0
雑収益	14,789,133	6,589,615	0	0	0	0	0	21,378,748	359,471		21,738,219
受取利息								0	359,471		359,471
返還助成金	14,789,133	6,589,615						21,378,748			21,378,748
経常収益計	587,690,776	6,589,615	0	0	0	2,935,567	2,802,085,978	3,399,301,936	58,370,769		3,457,672,705
(2) 経常費用											
事業費	2,473,143,496	516,198,533	127,221,064	95,599,772	11,595,988	175,543,083	0	3,399,301,936			3,399,301,936
武田顕彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000							100,000,000			100,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
医学系研究助成金	582,000,000							582,000,000			582,000,000
薬学系研究助成金	97,000,000							97,000,000			97,000,000
ライフサイエンス研究助成金	99,000,000							99,000,000			99,000,000
特定研究助成金	550,000,000							550,000,000			550,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	265,000,000							265,000,000			265,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000							21,000,000			21,000,000
外国人留学助成金		97,314,122						97,314,122			97,314,122
医学部博士課程奨学助成		188,200,000						188,200,000			188,200,000
海外研究留学助成		161,895,000						161,895,000			161,895,000
武田医学賞褒賞金			60,000,000					60,000,000			60,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				3,000,000				3,000,000			3,000,000
助成金等費用	26,700,000	1,500,000	2,250,000	150,000	0	7,066,784		37,686,784			37,686,784
役員報酬	4,564,000	2,489,200	1,022,000	456,400	228,200	2,917,600		11,677,400			11,677,400
給料手当	11,795,776	13,585,978	1,310,641	5,822,563	1,509,097	13,581,869		47,605,924			47,605,924
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	170,601	70,044	31,280	15,640	199,962		800,327			800,327
退職給付費用	405,000	98,000	45,000	42,000	19,500	175,500		785,000			785,000
福利厚生費	1,924,745	2,024,303	824,892	2,022,828	0	3,011,719		9,808,487			9,808,487
会議費	12,379,676	9,298,432	8,164,264	13,240,788	0	2,022,828		45,105,988			45,105,988
旅費交通費	27,670,371	20,734,746	4,727,274	35,899,958	0	4,191,031		93,223,380			93,223,380
通信運搬費	1,424,807	348,943	1,580,203	187,487	1,862,615	733,286		6,137,341			6,137,341
減価償却費	5,355,697	1,394,991	1,394,194	349,194	349,194	24,200,148		33,043,418			33,043,418
消耗品費	3,250,932	2,485,748	2,567,639	616,954	0	2,097,563		11,018,836			11,018,836
修繕費	0	0	0	0	57,750	33,685,289		33,743,039			33,743,039
印刷製本費	16,577,531	298,957	6,921,294	80,072	3,967,327	9,892,875		37,738,056			37,738,056
光熱水料費	691,033	699,424	296,157	698,930	0	987,190		3,372,734			3,372,734
賃借料	3,068,607	3,103,507	2,955,514	2,992,958	2,949,865	37,300,489		52,390,940			52,390,940
保険料	4,812	80,528	4,812	4,812	4,812	6,412,363		6,512,139			6,512,139
諸謝金	6,716,383	977,173	1,346,075	1,948,244	501,165	2,351,610		13,840,650			13,840,650
委託費	35,935,932	8,669,114	1,952,611	28,054,676	123,523	17,275,772		92,011,628			92,011,628
租税公課	0	0	0	0	7,300	3,550		10,850			10,850
広報費	339,900	535,109	29,762,700	0	0	7,370,000		38,007,709			38,007,709
雑費	5,494	294,657	25,750	628	0	45,655	0	372,184			372,184

正味財産増減計算書内訳表
2024年4月1日から2025年3月31日まで

管理費									58,370,769		58,370,769
役員報酬									15,192,792		15,192,792
給料手当									15,433,561		15,433,561
役員退職慰労引当金繰入額									763,673		763,673
退職給付費用									1,275,000		1,275,000
福利厚生費									4,704,971		4,704,971
会議費									2,307,039		2,307,039
旅費交通費									2,111,225		2,111,225
通信運搬費									531,978		531,978
減価償却費									349,192		349,192
消耗品費									1,742,809		1,742,809
修繕費									78,540		78,540
印刷製本費									314,003		314,003
光熱水料費									1,974,379		1,974,379
賃借料									4,004,855		4,004,855
保険料									144,681		144,681
諸謝金									84,379		84,379
会計監査報酬									2,200,000		2,200,000
委託費									4,591,227		4,591,227
租税公課									88,400		88,400
雑費									478,065		478,065
経常費用計	2,473,143,496	516,198,533	127,221,064	95,599,772	11,595,988	175,543,083	0	3,399,301,936	58,370,769		3,457,672,705
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,885,452,720	-509,608,918	-127,221,064	-95,599,772	-11,595,988	-172,607,516	2,802,085,978	0	0		0
基本財産評価損益等	-188,009,607							-188,009,607			-188,009,607
基本財産評価損益等	-188,009,607							-188,009,607			-188,009,607
特定資産評価損益等	386,532,107					-15,833,360		370,698,747			370,698,747
特定資産評価損益等	386,532,107					-15,833,360		370,698,747			370,698,747
評価損益等計	198,522,500					-15,833,360		182,689,140			182,689,140
当期経常増減額	-1,686,930,220	-509,608,918	-127,221,064	-95,599,772	-11,595,988	-188,440,876	2,802,085,978	182,689,140	0		182,689,140
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計						400,000		400,000	0		400,000
図書資料受贈益						400,000		400,000	0		400,000
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	385,944		385,944
固定資産除却損								0	385,944		385,944
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	400,000	0	400,000	-385,944		14,056
当期一般正味財産増減額	-1,686,930,220	-509,608,918	-127,221,064	-95,599,772	-11,595,988	-188,040,876	2,802,085,978	183,089,140	-385,944		182,703,196
一般正味財産期首残高											22,636,143,315
一般正味財産期末残高											22,818,846,511
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,632,608,000	2,632,608,000	306,240,000		2,938,848,000
基本財産受取配当金							2,632,608,000	2,632,608,000	306,240,000		2,938,848,000
特定資産運用益							191,811	191,811	1,458,799		1,650,610
特定資産受取利息							191,811	191,811	1,458,799		1,650,610
基本財産評価損益							3,139,933,500	3,139,933,500	365,255,000		3,505,188,500
基本財産評価損益							3,139,933,500	3,139,933,500	365,255,000		3,505,188,500
一般正味財産への振替額							-2,802,085,978	-2,802,085,978	-58,008,020		-2,860,093,998
一般正味財産への振替額							-2,802,085,978	-2,802,085,978	-58,008,020		-2,860,093,998
当期指定正味財産増減額								2,970,647,333	614,945,779		3,585,593,112
指定正味財産期首残高											68,602,697,391
指定正味財産期末残高											72,188,290,503
III 正味財産期末残高											95,007,137,014

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	7,659,500	1,564,000	0	0	9,223,500
退職給付引当金	9,497,000	1,125,000	2,725,000	0	7,897,000

キャッシュ・フロー計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,966,487,151	2,841,241,571	125,245,580
配当金収入	2,938,848,000	2,816,396,000	122,452,000
利息収入	27,639,151	24,845,571	2,793,580
特定資産運用収入	551,352,063	528,725,924	22,626,139
配当金収入	500,228,352	479,385,504	20,842,848
利息収入	51,123,711	49,340,420	1,783,291
寄付金収入	0	70,000	-70,000
雑収入	21,738,219	16,580,016	5,158,203
利息収入	359,471	5,600	353,871
返還助成金	21,378,748	16,574,416	4,804,332
事業活動収入計	3,539,577,433	3,386,617,511	152,959,922
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,467,030,296	2,320,366,831	146,663,465
奨学助成事業支出	528,958,180	538,958,606	-10,000,426
武田医学賞褒賞事業支出	125,711,374	66,258,313	59,453,061
国際シンポジウム事業支出	94,654,447	86,969,326	7,685,121
本草医書発刊事業支出	11,200,894	19,243,807	-8,042,913
本草医書公開事業支出	146,407,313	135,468,660	10,938,653
公益目的事業共通費支出	0	1,170	-1,170
管理費支出	59,351,893	93,362,025	-34,010,132
事業活動支出計	3,433,314,397	3,260,628,738	172,685,659
事業活動によるキャッシュ・フロー	106,263,036	125,988,773	-19,725,737
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	18,216,120	1,196,489,680	-1,178,273,560
特定資産普通預金収入	0	586,892,650	-586,892,650
特定資産投資有価証券償還・売却収入	0	595,000,000	-595,000,000
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	18,216,120	14,597,030	3,619,090
投資活動収入計	18,216,120	1,196,489,680	-1,178,273,560
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	18,216,120	14,597,030	3,619,090
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	18,216,120	14,597,030	3,619,090
特定資産取得支出	85,109,830	1,252,050,542	-1,166,940,712
特定資産普通預金支出	0	595,000,000	-595,000,000
特定資産投資有価証券取得支出	0	586,892,650	-586,892,650
特定資産資産取得資金取得支出	0	10,644,000	-10,644,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	85,109,830	59,513,892	25,595,938
固定資産取得支出	33,444,859	16,713,195	16,731,664
建物購入支出	0	0	0
什器備品購入支出	11,066,000	635,815	10,430,185
ソフトウェア購入支出	22,378,859	16,077,380	6,301,479
投資活動支出計	136,770,809	1,283,360,767	-1,146,589,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	-118,554,689	-86,871,087	-31,683,602
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	-12,291,653	39,117,686	-51,409,339
VI 現金及び現金同等物の期首残高	234,871,311	195,753,625	39,117,686
VII 現金及び現金同等物の期末残高	222,579,658	234,871,311	-12,291,653

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)	有価証券の評価基準及び評価方法	
	① 其他有価証券 (時価のあるもの)	期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっている。
(2)	固定資産の減価償却方法	
	① 建物	定額法によっている。
	② 什器備品	定額法によっている。
	③ ソフトウェア	定額法によっている。
(3)	引当金の計上基準	
	① 役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上して
	② 退職給付引当金	職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生してい
		ると認められる額を計上している。
(4)	キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	
	資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。	
(5)	消費税等の会計処理	
	税込方式によっている。	

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
現	金	23,923,594	0	0	23,923,594
投	資	66,568,724,000	3,505,188,500	186,877,500	69,887,035,000
関	有価証券	3,031,972,318	18,616,120	0	3,050,588,438
	書				
	資				
	料				
小計		69,624,619,912	3,523,804,620	186,877,500	72,961,547,032
特定資産					
助	成	16,476,167,227	596,626,524	212,736,000	16,860,057,751
杏	雨	241,069,558	0	15,824,000	225,245,558
資	基	278,981,000	0	33,990,000	244,991,000
寄	取	4,137,414,859	85,109,830	18,216,120	4,204,308,569
附	得	104,545,344	0	4,705,218	99,840,126
者	資				
指	金				
定	金				
特	金				
定	物				
基					
金					
物					
小計		21,238,177,988	681,736,354	285,471,338	21,634,443,004
合計		90,862,797,900	4,205,540,974	472,348,838	94,595,990,036

(注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期増加額は株式の時価評価益、当期減少額は其他債券の時価評価損及び償却原価等である。

2. 特定資産の助成基金の当期増加額は株式の時価評価益、当期減少額は其他債券の時価評価損及び償却原価等である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現 金 預 金	23,923,594	(0)	(23,923,594)	(0)
投 資 有 価 証 券	69,887,035,000	(67,547,584,500)	(2,339,450,500)	(0)
図 書 資 料	3,050,588,438	(336,941,195)	(2,713,647,243)	(0)
小 計	72,961,547,032	(67,884,525,695)	(5,077,021,337)	(0)
特定資産				
助 成 基 金	16,860,057,751	(0)	(16,860,057,751)	(0)
杏 雨 基 金	225,245,558	(0)	(225,245,558)	(0)
資 産 取 得 資 金	244,991,000	(0)	(244,991,000)	(0)
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	4,204,308,569	(4,203,924,682)	(383,887)	(0)
建 物	99,840,126	(99,840,126)	(0)	(0)
小 計	21,634,443,004	(4,303,764,808)	(17,330,678,196)	(0)
合 計	94,595,990,036	(72,188,290,503)	(22,407,699,533)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物	166,165,775	66,325,649	99,840,126
その他固定資産			
建 物	182,965,183	131,151,992	51,813,191
什 器 備 品	346,066,143	267,252,998	78,813,145
ソ フ ト ウ ェ ア	141,015,892	72,910,357	68,105,535
合 計	836,212,993	537,640,996	298,571,997

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。
定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

- ①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。
- ②信用リスクの管理
有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。
- ③市場リスクの管理
有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)	
内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	2,853,738,170
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	4,705,218
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	1,650,610
合 計	2,860,093,998

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	234,871,311	現金預金勘定	222,579,658
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	234,871,311	現金及び現金同等物	222,579,658

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
—	—

財 産 目 録

2025年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			222,579,658
	現金	手元保管	運転資金として	396,304
	普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	41,315,291
	普通預金	三井住友銀行十三支店	"	180,868,063
	前払金			25,200,000
	前払金	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金	0
	前払金	海外研究留学学者	海外研究留学助成金前払金	25,200,000
流動資産合計				247,779,658
(固定資産)				
基本財産				72,961,547,032
	現金預金			23,923,594
	普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	23,923,594
	投資有価証券			69,887,035,000
	株式	(武田薬品株)15,306,500株		67,547,584,500
	公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	60,508,849,500
	法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	7,038,735,000
	公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,339,450,500
	その他債券	第131回利付国債(20年)		258,350,000
		第10回利付国債(30年)		98,620,000
		第11回利付国債(30年)		247,296,000
		第143回利付国債(20年)		153,630,000
		第151回利付国債(20年)		390,280,000
		第152回利付国債(20年)		97,310,000
		第155回利付国債(20年)		132,188,000
		第157回利付国債(20年)		342,000,000
		第181回利付国債(20年)		406,847,000
		第187回利付国債(20年)		212,929,500
	図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	3,050,588,438
			(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
		本草関係書籍	(故)武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
		東洋学善本	(故)武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
		本草・医書・関係書籍	武田薬品工業(株) 寄贈 16,586部	339,860,500
		医家墨蹟類	武田薬品工業(株) 寄贈 589点	23,745,000
		医療器具類	武田薬品工業(株) 寄贈 150点	3,700,000
		武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
		村上文書	武田家 寄贈 (書状5,000通含) 909部	8,990,000
		洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
		羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
		医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
		医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
		半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
		Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
		宋版 經史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
		中薬大辞典	1999年度購入 5部	308,700
		本草図譜	1999年度購入 1部	506,520
		東洋医学書善本叢書	2000年度購入 20冊	681,345
		本草肉摺	2000年度購入 4帙23冊	8,925,000
		黄帝内経素問診解他	" 29冊	873,600
		医心方続編	2000年度購入 12冊	488,250
		萬金産業袋	2001年度購入 5冊	189,000
		中国本草全書	2001～2002年度購入 411冊	8,908,333
		金陵本 本草綱目	2002年度購入 7	236,250
		「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入 109枚	1,260,000
		BOTANICAL CABINET	" 20冊2000枚	4,725,000
		HOOKE'S EXOTIC FLORA	" 3冊233枚	892,500
		THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入 34冊	7,875,000
		鴻寶秘要抄	" 1冊	682,500
		続添鴻宝秘要抄抜書	" 1冊	262,500
		江馬榴園書状集	2003年度購入 1冊	357,710
		衍義本草	2004年度購入 21冊	9,450,000
		医方大成	" 5冊	2,100,000
		医林類証集要	" 20冊	4,200,000
		世医得効方	" 20冊	4,200,000
		植物誌カザナニ図書館蔵本ファクシミリ版	2005年度購入 1冊	1,197,000
		補遺雷公炮製便覧	" 13冊	350,000

図書資料

東洋医学雑誌復刻叢書	"	8冊	257,250
常陸文庫	"	571部	74,970,000
Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
長崎西家由緒書	"	1冊	252,000
野間玄琢書状	"	1冊	170,000
奈須玄忠・玄竹書状集	"	1冊	420,000
帆足万里書状	"	1冊	252,000
橋田直助書状集	"	1冊	220,000
ヘボン氏手術図以下	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	"	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	"	6冊	367,500
松本文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序聴迷詩所経	"	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓通集	"	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	"	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	"	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	"	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香葉抄	"	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	"	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1～3, 1953 Watson JD and Crick FHC他	"	19冊	15,579,900
二宮文庫	"	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	"	1冊	360,000
ローベル：草木誌	"	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	"	1冊	282,555
ショメル：家政事典 初版（フランス語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
田中彌性圖文庫	"	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	"	1巻	1,260,000
配済録他	"	3冊	1,462,960
医心方提要他	"	13冊	2,276,960
	(以上、公益認定前取得)		
	(以下、公益認定後取得)		
	(公益認定後取得額合計)		1,008,777,115
方葉順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
lennece Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
石原保秀文庫	2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
解剖学蘭訳初版	"	1冊	6,500,000
小曾戸文庫	"	1802点	261,092,470
Ontleding des Menschelyken	"	1冊	1,995,000
外科学入門	"	1冊	367,500
トーマス・バルトリン「解剖学」	"	1冊	262,500
師弟問答	"	1冊	4,500,000
曲直瀬道三書状	"	1冊	650,000
合葉直伝集	"	1冊	350,000
岡本玄治書状	"	1部	157,500
方肥劑	"	1冊	340,980
古医書写本	"	9冊	560,980
医学正伝	"	8冊	945,980
證類本草序列	"	1冊	2,250,000
ショメル：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
ハットン：リンネの体系にもとづく自然誌	"	37冊	2,100,000
マルチット：自然の教理問答	"	4冊	81,900
バスター：科学の楽しみ	"	1冊	441,000
ジャブレナル：植物学入門	"	3冊	126,000
ジャクソン：植物学入門	"	1冊	79,800
デハース：王立植物園での実演による血液循環および 新発見に基づく人体の解剖	"	1冊	56,133
橋本高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峽山像	"	4幅対	100,000
浅田栗園先生母堂栗園宛消息	"	4通	85,000
鈴木松塘・菜圃 浅田栗園宛書簡他	"	26通	250,000
長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	"	10通	200,000
名家書簡	"	46通54紙	2,625,000
マルティン：哲学教師または現代実験自然学概説	"	1冊	94,500
医学正伝	"	8冊	7,500,000
奥田・藤平文庫	"	668点	13,760,460
古文孝経	"	1巻	12,055,970
神農皇帝真伝灸図	"	1冊	285,990
校正本 救荒本草・救荒野譜	"	3冊	395,990
草之名集 秋之部	"	1冊	175,990
新刊 大観本草	"	20冊	1,759,990
日本植物図譜	"	1冊	1,088,990
察病指南	"	1冊	285,990
意伝普救録	"	1冊	285,990
節斎漫録	"	3冊	2,210,990

図書資料

大成論抄	"	1冊	340,990
禽獸魚介蟲図譜	"	4冊	1,759,990
医家本草家書状	"	1巻	420,000
大塚修琴堂文庫	"	2985点	139,987,890
中西深斎 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草	"	2冊	9,000,000
素問入式運氣論奥	"	1冊	3,500,000
重修政和經史證類備用本草（巻十五～十七）	"	1冊	252,000
吉雄幸作・俊蔵書簡	"	1巻	420,000
江馬春齡・蘭斎書簡	"	1巻	330,000
ターヘル・アナトミア	"	1冊	290,200
日本医史学会文庫	"	38点	7,980,500
大阪華岡塾合水堂文庫	"	319点	42,765,760
レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
刈谷藩士本草学者穴戸昌 自筆文書	"	12冊	525,000
伊藤（圭介・延吉・篤太郎）家伝来文書	"	9幅	5,450,000
射駒山親花書画	"	1巻	270,000
蘭畹摘芳草稿	"	1冊	1,700,000
大阪華岡塾合水堂文庫	"	12点	20,422,500
本間玄調肖像	"	1幅	315,000
ニerland「ネーデルラント薬用草本誌」	2015年度購入	1冊	540,000
クルムス「ターヘル・アナトミア」	"	1冊	3,078,000
難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	"	21冊	367,500
二十八宿三微垣並星象畧図	"	1冊	84,000
家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	"	7冊	148,500
解体新書	"	5冊	4,000,000
古文孝経	"	1冊	8,500,000
玉機微義	"	12冊	6,500,000
杉立文庫	"	26点	5,990,560
古訓医伝薬能方法辨	"	5冊	36,750
傷寒論国字辨	"	1冊	31,500
傷寒論辨正	"	1冊	15,750
傷寒外伝	"	1冊	42,000
五書別髄	"	1冊	63,000
傷寒論識	"	6冊	15,750
傷寒論特解	"	1冊	73,500
家刻傷寒論	"	1冊	63,000
傷寒貫珠集	"	1冊	73,500
喻嘉言先生傷寒尚論篇全書	"	1冊	63,000
金匱正辨	"	1冊	10,500
傷寒論劉氏伝	"	1冊	15,750
傷寒論櫟義	"	1冊	94,500
傷寒論大意	"	1冊	31,500
キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica」	"	1冊	997,207
温知堂文庫	"	619点	19,440,000
解体新書	"	5冊	3,591,000
経史證類大観本草	"	25冊	1,200,000
本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本	2016年度購入	2巻	210,000
間玄調宛書簡	"	1冊	31,500
千魚一観録	"	1冊	31,500
小曾戸文庫	"	632点	80,935,050
スメリー「産科学解剖図録」	"	1冊	1,404,000
時選読我書捷見	"	1冊	270,000
参製口訣稿本 二種	"	2冊	270,000
宋本素問版心文字録	"	1冊	162,000
遊仙窟	"	1冊	270,000
劉向新序 十巻	"	2冊	432,000
素女妙論	"	1冊	64,800
素女妙論	"	1冊	37,800
黄素之妙論	"	1冊	129,600
黄素妙論	"	1冊	129,600
釋糸付釋麻	"	1冊	210,000
東大寺古文書	"	1幅	105,000
多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000
医心方	"	30冊	3,240,000
三医聖画像（三幅対）	"	3幅	54,000
黄帝秘要良方	"	1冊	270,000
扁鵲倉公列伝割解	"	1冊	162,000
傷寒論述義	"	1冊	378,000
葉雅	"	1冊	194,400
新刊京本活人心法	"	1冊	486,000
増修無冤録大全	"	1冊	216,000
医学院学範 第一編三巻	"	3冊	31,500
温疫論	"	2冊	8,400
温疫論私評	"	2冊	36,750
華氏解剖摘要九巻	"	2冊	42,000
金匱医談	"	1冊	31,500
種痘傳習録	"	1冊	31,500

図書資料

内科新説	"	3冊	6,300
博物新編 三刻	"	3冊	5,250
京都典藥寮医師大野家旧蔵資料	"	一括	840,000
杉田玄白肖像画	"	1幅	20,000
神農像	"	1幅	80,000
神農像 附肖像木版画	"	2幅	150,000
ルードヴィヒ「植物学講義」初版	"	1冊	248,400
菅一学士入余門云々	"	1軸	550,000
伊藤圭介葉書・書状	2018年度購入	一括	150,000
長井長義朝鮮視察時写真帖	"	1冊	105,000
察病指南 室町中期刊 五山版	"	1冊	10,800,000
羽田文庫	"	116点	40,503,750
察病指南	"	1冊	126,000
養生月覽	"	1冊	63,000
香川修徳書状	"	1通	30,240
富士川游書	"	1幅	108,000
列仙傳卷物（小曾戸文庫追加）	小曾戸 洋 氏 寄贈	2巻	2,835,000
神農図 月巻画	2019年度購入	1幅	48,600
三医神像	"	1幅	108,000
神農像 様同齊筆	"	1幅	84,240
張仲景像 吉益北洲画并題	"	1幅	130,600
新宮涼閣コレラ病詩	"	1幅	62,640
北山寿安医事消息	"	1幅	175,987
京都医塾有功館門人姓名録並由緒書	"	1組	153,986
月巻画 三国志治療之図	"	1幅	175,987
ヨンケル「瑞穂草」	"	3冊	183,600
ショイベ「日本における病気の臨床所見」	"	1冊	64,800
ショイベ「日本人の脚気」	"	1冊	84,240
田代玄快肖像画幅	"	1幅	28,000
増地長喬肖像画幅	"	1幅	4,400
増地長喬肖像画幅	"	1幅	3,600
切紙下巻	"	1冊	32,000
浅田宗伯書簡	"	1通	220,000
頼松庵肖像画幅	"	1幅	20,000
スメリー「産科論」初版	"	1冊	594,000
新刊万病回春	"	5冊	1,660,983
大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡	"	1巻	725,987
シュンベリー「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」	"	4冊	682,000
延寿帶効用略記	"	1冊	8,900
矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品	"	37点	9,555,000
結壺居別集序	"	1巻	220,000
神農像掛軸（小曾戸文庫追加）	小曾戸 洋 氏 寄贈	4幅	698,250
各務小木骨	2020年度購入	一括	7,700,000
カウパー「人体解剖図説」ラテン語初版 1739年	"	1冊	1,650,000
ライデン刊	"	1冊	88,000
椿庭隨筆	"	1冊	715,000
古方類按	"	3冊	220,000
学晦堂医話	"	2冊	495,000
瘍科広要 卷之一	"	1冊	275,000
内科開微私評	"	1冊	385,000
結壺居別集 卷三・四	"	1冊	395,980
医範提綱内象銅版図	"	1冊	385,000
病草紙	"	1巻	1,430,000
オスカンプ等篇「薬用植物図譜」全6巻	"	6冊	4,614,750
蘭訳版初版 1796-1800年	"	9幅1冊	37,059,750
丸亀尾池家医学関係資料	"	54点	198,000
矢数文庫	"	1冊	495,000
敦煌莫高窟秘本一神論殘卷	"	1冊	4,630,983
貴目帖	2021年度購入	1帖	230,989
仁斎直指	"	7冊	340,988
寒窓哈嚙	"	2冊	49,500,000
瓊桃集	"	1冊	935,000
黄帝内経太素	"	1巻	38,500
延寿類要	"	1冊	110,000
濟本医説抄録	"	1冊	41,800
神農図 延寿院橋玄潭画讃	"	1幅	2,420,000
福井棟園（晋）遠雁余声五言律詩	"	1幅	5,281,500
ヨンストン「動物図説」蘭語版・初版 1660年	"	1冊	450,980
長野文庫	"	28点	151,000
読書漫録	"	3冊	38,500
多紀元堅	"	1幅	495,000
漫遊雜記 卷上	"	1冊	71,500
医嗽 欠有	"	4冊	66,000
成章堂家蔵方	"	1冊	385,000
栗園日抄	"	1冊	220,000
栗園録稿并掌記 二	"	1冊	242,000
読書漫録 巳	"	1冊	13,000
ロッテルダム薬局方第3版1736年	"	1冊	84,000
浅田恭悦書簡	"	1通	242,000
森立之書簡	"	1通	539,170
ブラッハ「ベルギー薬局方の調剤帳」初版 1829年	"	1冊	10,783,500
和智新妻文庫医学関係書	"	一括	330,000
和智・新妻文庫	2022年度購入	263点	
瘧疫論刊誤 卷四	"	1冊	

図書資料	延寿院家丸散方・山科家丸散方	"	2巻	153,988
	栗園贅稿	"	1冊	593,985
	浅田宗伯伝記（付中野康章身上資料）	"	6冊（付1冊2枚）	285,987
	神農像刀剣柄頭	"	1組	316,500
	当流酬医願得	"	1冊	192,585
	恵徳方 巻三上	"	1冊	170,385
	ライレッセ「大画法書」（蘭語版）1740年	"	洋1冊	220,000
	傷寒論拆義 五冊・皇朝医叢統篇 一冊	"	6冊	454,989
	刀暇録	"	4冊	888,000
	神農本経記聞	"	3冊	300,699
	曲直瀬玄鑑書状	"	1幅	333,000
	曲直瀬玄澗書状	"	1幅	333,000
	小野蘭山書状	"	1通	322,998
	福井恒斎書幅	"	1幅	222,111
	本草関係写本	"	32冊一括	454,989
	中野康章資料	"	1箱一括	367,299
	医心方	"	19冊	4,400,000
	グルテル「新精選外科学」（蘭訳・第3版）1762年	"	1冊	363,000
	格致餘論鈔 全五巻	"	5冊	100,000
	升采丹製法秘伝	"	1冊	25,000
	浅田宗伯書幅	"	2幅	170,000
	神農図	"	1幅	63,000
	三好退蔵書簡巻 佐伯理一郎宛4通	"	1巻	70,000
	司馬凌海書幅	"	1幅	73,500
	白澤図	"	1幅	60,000
	ウィンスロウ「人体構造の記述解剖学」初版 1732年 バリ刊	"	洋1冊	550,000
	養寿院秘録	2023年度購入	1冊	21,000
	曲直瀬道三書簡	"	1通	308,000
	丹溪心法大全	"	4冊	2,212,210
	曲直瀬道三書状	"	1通	385,000
	善宿茗話	"	1冊	198,000
	大槻玄沢書状	"	1通	400,000
	福原五岳画張仲景像	"	1軸	45,000
	切紙 曲直瀬玄鑑奥書古写本	"	1冊	1,155,000
	後藤良山手簡と山脇東洋識語	"	1幅	280,000
	浅田宗伯筆 水志序	"	1幅	200,000
	片倉玄周七絶書幅	"	1幅	150,000
	森立之詩幅	"	1幅	150,000
	園南先生新論	"	1冊	31,500
	上清紫庭道勞仙方論法	"	1冊	21,000
	越児災幾経験書 巻二、三	"	2冊	10,500
	神道方發揮 巻之上	"	1冊	21,000
	痘家摘要	"	1冊	42,000
	問窓偶筆	"	1冊	21,000
	北里文太郎自筆資料	"	12点	40,000
	入澤達吉マクリ	"	1枚	10,500
	坂上元太書状	"	1通	15,000
	文政12年年始差出諸用文書控	"	1冊	40,000
	大阪市中賣薬店数望	"	1枚	22,000
	尾張名所図会 前編・後編	"	13冊	120,000
	越俎菜誌	"	1冊	346,320
	中山玄亭自筆（北辰妙見宮）御袖専	長野 仁 氏 寄贈	1巻	15,000
	中山玄亭書簡	"	3通	15,000
	小匙	小曾戸 洋 氏 寄贈	3点	90,000
	相模和田文庫	2023年度購入	231点	8,352,000
	時還読我書	2024年度購入	4冊	1,992,207
	配劑扣帳	"	2冊	221,212
	本草書籍考	"	1冊1枚	122,217
	貝原益軒自筆書状	"	1巻	221,212
	新製輿地全図	"	1巻	111,206
	満洲魯西亜疆界図	"	1舖	111,206
	小柴胡湯図／冬菜図／七種図	"	三幅	450,000
	稲生若水・貝原益軒・小野蘭山書状集	"	1巻	1,320,000
	東西蝦夷 山川地理取調図	"	27舖	2,200,000
	徂徠先生周尺考	"	1冊	13,000
	医網提要	"	4冊	150,000
	米沢藩医堀内家旧蔵書状・画まくり	"	一括（64点）	250,000
	秦佐八郎・藤浪鑑葉書	"	1枚	10,000
	五代武田長兵衛書簡	"	2通	20,000
	白澤遊怪図	"	1幅	220,000
	神農像	"	1幅	495,000
	北里柴三郎書簡	"	2巻	5,673,236
	穴戸昌閑係書類	"	一括（約50点）	567,197
	解体新書	"	5冊（付元袋1枚）	2,565,197
	浅田宗伯書状集	"	1巻	1,100,000
	家庭薬葉箱（大心）	東野 治之 氏 寄贈	1箱	20,000
	家庭薬葉箱（みみとん ワキ胃腸丸）	"	1箱	30,000
	万国地球細見全図	小曾戸 洋 氏 寄贈	1舖	367,500
	医学原理	2024年度購入	12冊	385,730

特定資産			21,634,443,004
助成基金			16,860,057,751
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	31,254,723
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	800,000,000
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	16,028,803,028
株式	武田薬品(株) 2,605,356株		11,497,436,028
公社債			4,531,367,000
その他債券	第11回利付国債(30年)		154,560,000
	第137回利付国債(20年)		206,700,000
	第139回利付国債(20年)		615,900,000
	第141回利付国債(20年)		206,480,000
	第148回利付国債(20年)		403,800,000
	第149回利付国債(20年)		100,730,000
	第151回利付国債(20年)		292,710,000
	第152回利付国債(20年)		194,620,000
	第155回利付国債(20年)		94,420,000
	第157回利付国債(20年)		256,500,000
	第8回東京電力パワーグリッド債		197,520,000
	第25回東京電力パワーグリッド債		196,020,000
	第39回東京電力パワーグリッド債		96,870,000
	第515回関西電力債		195,440,000
	第484回九州電力債		95,390,000
	第489回九州電力債		379,600,000
	第404回中国電力債		292,470,000
	第227回神奈川県公募公債		88,452,000
	第471回大阪府公債		370,040,000
	北海道令和2年度第21回公募公債		46,930,000
	広島県令和3年度第5回公募公債		46,215,000
杳雨基金			225,245,558
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	1,432,558
公社債			223,813,000
その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	
資産取得資金			244,991,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	239,571,000
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	5,420,000
寄附者指定特定基金			4,204,308,569
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。	949,510,703
現金預金	法人会計		3,254,797,866
建物	公益目的事業会計		99,840,126
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	99,840,126
その他固定資産			198,781,871
建物			51,813,191
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	10,667,627
法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	41,145,564
什器備品			78,813,145
公益目的事業会計			75,574,810
	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。	66,355,979
	道修町ビル1F展示室備品	"	318,579
	道修町ビル4F書架、3Fセキュリティーゲート	"	4,691,679
	サーバー1台	"	1,073,573
	武田医学賞70周年動画	公益目的保有財産であり、研究助成事業の什器備品として使用している。	3,135,000
法人会計			3,238,335
	サーバーラック	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	289,975
	武田科学振興財団DVD	"	495,459
	居室 家具	"	325,445
	武田科学振興財団紹介コンテンツ表示用PC	"	2,127,456
ソフトウェア			68,105,535
公益目的事業会計	研究助成システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	32,740,952
公益目的事業会計	自動化書庫関連システム	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業のソフトウェアとして使用している。	28,402,149
公益目的事業会計	外国人留学助成、医学部博士課程奨学助成、海外研究留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	3,377,915
法人会計	財団Webサイト	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	3,584,519
保証金			
法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計			94,794,771,907
資産合計			95,042,551,565

(流動負債)				
	未払金			13,930,600
	未払金	有限責任監査法人トーマツ	監査費用未払分	2,200,000
		ダイキン工業株式会社	室外機予防保全作業費用未払分	4,180,000
		バルーンヘルプ株式会社	システム開発費用未払分	1,394,800
		常勤役員に対するもの	給与未払分	1,630,000
		職員に対するもの	給与未払分	4,525,800
	未払費用			1,575,005
	未払費用	常勤役員・職員に対するもの	給与・期末手当 福利厚生費未払分	1,575,005
	預り金			2,788,446
	預り金		住民税の預り金	281,500
			給与・期末手当等 所得税 預り金	1,488,480
			給与・期末手当 社会保険預り金	1,018,466
流動負債合計				18,294,051
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの	9,223,500
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	7,897,000
固定負債合計				17,120,500
負債合計				35,414,551
正味財産				95,007,137,014

独立監査人の監査報告書

2025 年 4 月 18 日

公益財団法人 武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人 トーマツ
大 阪 事 務 所

指定有限責任社員 公認会計士 高 見 勝 文
業務執行社員

<財務諸表等監査>

監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2025年3月31日現在の2024年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

2025年5月9日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯 澤 祐 史 殿

監 事 小 原 正 敏 ㊞

監 事 池 田 裕 彦 ㊞

私たち監事は、当財団の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上